

強い農業づくり交付金の配分基準について

16生産第8451号
平成17年4月1日
大臣官房国際部長
総合食料局長
生産局長 通知
経営局長

改正	平成18年	3月31日	17生産第8569号
改正	平成19年	3月30日	18生産第9316号
改正	平成20年	4月1日	19生産第9995号
改正	平成20年	10月16日	20生産第3974号
改正	平成21年	3月31日	20生産第10021号
改正	平成21年	3月31日	20総合第2242号
改正	平成21年	3月31日	20経営第7197号
改正	平成21年	5月29日	21生産第1067号
改正	平成21年	5月29日	21総合第323号
改正	平成21年	5月29日	21経営第934号
改正	平成22年	5月28日	21生産第9806号
改正	平成22年	5月28日	21総合第2156号
改正	平成22年	5月28日	21経営第7165号
改正	平成23年	4月1日	22生産第9709号
改正	平成23年	4月1日	22総合第1767号
改正	平成23年	4月1日	22経営第7281号
改正	平成24年	2月8日	23生産第5632号
改正	平成24年	2月8日	23食産第3068号
改正	平成24年	2月8日	23経営第2923号
改正	平成24年	4月6日	23食産第4021号
改正	平成24年	4月6日	23生産第6192号
改正	平成24年	4月6日	23経営第3673号
改正	平成25年	2月26日	24食産第5546号
改正	平成25年	2月26日	24生産第2892号

改正	平成25年	2月26日	24食産第5546号
改正	平成25年	2月26日	24生産第2892号
改正	平成25年	5月16日	25食産第272号
改正	平成25年	5月16日	25生産第173号
改正	平成26年	2月6日	25食産第4165号
改正	平成26年	2月6日	25生産第2889号
改正	平成26年	4月1日	25食産第4961号
改正	平成26年	4月1日	25生産第3422号
改正	平成26年	7月7日	26生産第1045号
改正	平成27年	2月3日	26食産第3602号
改正	平成27年	2月3日	26生産第2536号
改正	平成27年	4月9日	26食産第4697号
改正	平成27年	4月9日	26生産第3426号
改正	平成27年	9月30日	27生産第1842号
改正	平成28年	4月1日	27食産第6086号
改正	平成28年	4月1日	27生産第2872号
改正	平成28年	4月1日	27政統第906号
最終改正	平成29年	3月31日	28食産第6095号
最終改正	平成29年	3月31日	28生産第2194号
最終改正	平成29年	3月31日	28政統第1970号

強い農業づくり交付金については、強い農業づくり交付金実施要綱（平成17年4月1日付け生産第8260号農林水産事務次官依命通知）が定められたところであるが、その交付金の配分基準について、別紙のとおり定めたので、御了知の上、本交付金の実施につき、適切な御指導をお願いする。

強い農業づくり交付金の配分基準について

強い農業づくり交付金の配分基準については、以下のとおりとする。ただし、強い農業づくり交付金実施要綱（平成17年4月1日付け16生産第8260号農林水産事務次官依命通知。以下「要綱」という。）第3の2のただし書に基づく緊急の事業については、要綱別表1のⅠ及びⅡのメニューの欄に定める取組と別に配分額を決定するものとし、その配分基準は、生産局長又は政策統括官が別に定めるところによるものとする。

第1 都道府県配分額の算定

次に掲げる事項ごとに算定された額を合計し、各都道府県への配分額とする。

1 前年度からの継続事業等に対する配分

予算額から要綱別表1のⅠ及びⅡのメニューの欄に定める取組のうち、事業実施期間が複数の年の事業の2年度目以降の実施に要する要望額に相当する額を、都道府県ごとに合計した額を配分する。

2 事業実施計画の成果目標等に応じた配分

(1) 予算額から1に要する額を減じた額の範囲内で、以下の方法により配分額を算定することとする。

ア 優先枠の取組に対するポイントの加算

次の(ア)から(エ)までの取組のうち、優先枠の範囲内で別表5に定めるポイントを加算できるものとする。

(ア) 産地収益力の強化のうち次世代型大規模園芸施設の整備の取組

(イ) 産地収益力の強化のうち中山間地域の競争力強化に向けた体制整備の取組

(ウ) 産地競争力の強化のうち水田における高収益型農業への転換に向けた体制整備の取組

(エ) 産地合理化の促進のうち穀類乾燥調製貯蔵施設等再編利用、集出荷貯蔵施設等再編利用、農産物処理加工施設等再編利用及び食肉等流通体制整備の取組

なお、(イ)の取組にあつては、地域別農業振興計画（中山間地農業ルネッサンス事業実施要綱（平成29年3月31日付け28農振第2276号農林水産事務次官依命通知）等に基づく地域別農業振興計画をいう。）に基づき行われることが確実と見込まれる事業実施計画を優先して加算の対象とするものとし、その合計が優先枠の範囲に満たない場合には、上記以外の事業実施計画にも加算できるものとする。

イ 配分対象となる事業実施計画の特定

優先枠の対象となる事業実施計画及びそれ以外の事業実施計画について、別表1-1-

①から5までにに基づき算定したポイントの高い順に並べ、予算の範囲内でポイントが上位の事業実施計画から順に要望額に相当する額を都道府県ごとに合計し、当該合計額を交付金額として配分するとともに、各優先枠に係る交付金額を示すものとする。

ウ 高度環境制御栽培施設及び高度技術導入施設のうち、周年・計画生産の技術が既に普及している品目の施設に係る事業実施計画の特定

高度環境制御栽培施設及び高度技術導入施設のうち、完全人工光型の施設に係るスプラウト類、リーフレタス類等の周年・計画生産の技術が既に普及している品目の新技術については、同一の技術の導入地区数は、平成29年度以降の累計で3地区までとしていることから、当該年度において、同一の新技術を導入した施設の事業実施計画の申請が導入地区数の上限を超える場合は、ポイントが上位の事業実施計画から順に交付金の配分対象となる事業実施計画を特定することとする。なお、同一ポイントを獲得した事業実施計画が複数ある場合は、要望額の小さい順に交付金の配分対象となる事業実施計画を特定することとする。

(2) 1事業実施計画当たりの上限要望額は、それぞれ次のとおりとする。

ア 次世代型大規模園芸施設の整備の取組及び高度環境制御栽培施設の整備取組にあっては、1年度当たり10億円

イ アに掲げる取組以外のものにあつては、1年度当たり20億円

ウ ア及びイにかかわらず、要綱別表1のIの事業実施主体の欄の1の(15)に掲げる中間事業者及び同(16)に掲げる流通業者が要望できる1事業実施計画当たりの額にあつては、それぞれ次のとおりとする。

(ア) 中間事業者 5億円

(イ) 流通業者 2.5億円

(3) (1)により配分した結果、最後の配分可能額が事業実施計画の要望額を下回る場合には、当該配分可能額を当該都道府県に配分する。

なお、当該配分可能額に同一ポイントを獲得した事業実施計画が複数ある場合には、以下のとおり配分するものとする。

ア 要綱第2に定める政策目的のうち食品流通の合理化に資する事業実施計画がある場合は、当該事業実施計画については、要望額に相当する額を配分する。

イ アにより配分した結果、更に配分可能額がある場合には、事業実施計画に都道府県が付与した優先順位の高い順（都道府県が付与した優先順位が同一の場合は、要望額の小さい順）に、アの事業実施計画を除いた事業実施計画の要望額の割合に対し、8割を下限とする範囲内で当該都道府県に配分する。

(4) 配分対象となった事業実施計画の実施を取りやめた場合、次年度に同一の事業実施計画で要望することはできないものとする。

ただし、自然災害等、やむを得ない事情があると地方農政局長等（北海道にあっては生産局長及び政策統括官、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局長。）が認める場合は、この限りではない。

第2 評価結果の配分額への反映

交付金の配分における要綱第8の6に基づく評価結果の反映は、次によるものとする。

ただし、平成23年度補正予算（第4号）及び平成24年度補正予算（第1号）に係る配分における要綱第8の6に基づく評価結果にあつては、本項を適用しない。

1 評価結果の反映は、要綱第8の6に基づき取りまとめた評価結果における都道府県別の成果目標の達成度の過去5ヶ年の平均値（当該達成度が2以上の政策目的にわたる場合にあっては、各政策目的の事業実績に応じて加重平均した値とする。以下「達成度」という。）に基づき行うものとする。

2 評価結果を反映した配分額は、都道府県からの交付要望額に、次の表の左欄に掲げる達成度の区分に応じ、それぞれ右欄に掲げる率を乗じて得た額とする。

整備事業

達成度	乗率
80%以上	100.0%
60%以上80%未満	95.0%
40%以上60%未満	90.0%
20%以上40%未満	85.0%
20%未満	80.0%

第3 前々年度不用額の配分額への反映

都道府県に配分した交付金の効率的な予算執行を推進するために、以下のとおり前々年度の都道府県における交付金の不用額を都道府県からの交付要望額に反映させるものとする。

不用額とは、都道府県が配分を受けた割当額のうち、未執行となった額をいう。

不用ペナルティ査定額＝都道府県からの交付要望額×不用額換算率

前々年度都道府県別不用額率	不用額換算率
5 %未満	100%
5 %以上20%未満	95%
20%以上40%未満	90%
40%以上	80%

(注) 前々年度都道府県別不用額率＝前々年度不用額／前々年度割当額×100

第4 配分基準の考え方の見直し

本通知の配分基準の考え方については、個別地区の成果目標の実績、総合的な政策推進の観点等を踏まえ、必要に応じ、関係者以外の者の意見を聴取した上で見直しを行うものとする。

附 則

- 1 この改正された要領は、平成18年3月31日から施行する。ただし、同年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この通知は、平成19年4月1日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成20年4月1日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成20年10月16日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成21年4月1日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成21年5月29日から施行する。

附則

- 1 この改正は、平成22年5月28日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成23年4月1日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成24年2月8日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成24年4月6日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成25年2月26日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成25年5月16日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成26年2月6日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成26年4月1日から施行する。

附則

- 1 この通知は、平成26年7月7日から施行する。
- 2 平成26年度当初予算に関し、平成26年7月7日以降においては、第1の2の事業実施計画について、事業実施主体が要望できる1事業実施計画当たりの上限要望額は3億円とする。とともに、第1の2の(1)のアの(ア)に定める産地競争力の強化のうち農畜産物輸出に向けた体制整備の取組へのポイントの加算は行わないものとする。

附則

- 1 この通知は、平成27年2月3日から施行する。
- 2 平成26年度補正予算に関し、第1の2の(1)のアの(イ)に定める産地収益力の強化のうち、「強み」のある産地形成に向けた体制整備の取組への優先枠の取組に対するポイントの加算は行わないものとする。

附則

この通知は、平成27年4月9日から施行する。ただし、第3の規定については平成28年度予算成立日から適用する。

附則

- 1 この通知は、平成27年9月30日から施行する。

附則

この通知は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この通知は、平成29年4月1日から施行する。

別表1-1-①(産地収益力の強化に向けた総合的推進)

各メニューの産地基幹施設等(以下「施設等」という。)の整備内容は以下のとおりとする。また、類別欄に定める番号の達成すべき成果目標基準、ポイント等は別表1-2-①のとおりとする。

メニュー	産地基幹施設等	類別														
土地利用型作物(稲 (新規需要米を除く。))	耕種作物小規模土地基盤整備	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	育苗施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	乾燥調製施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	穀類乾燥調製貯蔵施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	農産物処理加工施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	集出荷貯蔵施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	産地管理施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	生産技術高度化施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
土地利用型作物(新規需要米)	耕種作物小規模土地基盤整備	10	11	12	13	14										
	育苗施設	10	11	12	13	14										
	乾燥調製施設	10	11	12	13	14										
	穀類乾燥調製貯蔵施設	10	11	12	13	14										
	農産物処理加工施設	10	11	12	13	14										
	集出荷貯蔵施設	10	11	12	13	14										
	産地管理施設	10	11	12	13	14										
	用土等供給施設	10	11	12	13	14										
	生産技術高度化施設	10	11	12	13	14										
	種子種苗生産関連施設	10	11	12	13	14										
	有機物処理・利用施設	10	11	12	13	14										
土地利用型作物(麦)	耕種作物小規模土地基盤整備	17	18	19	20	21	22	23	24	25						
	乾燥調製施設	17	18	19	20	21	22	25								
	穀類乾燥調製貯蔵施設	17	18	19	20	21	22	25								
	農産物処理加工施設	17	18	19	20	21	22	23	25							
	集出荷貯蔵施設	17	18	19	20	21	22	25								
	産地管理施設	17	18	19	20	21	22	23	25							
	生産技術高度化施設	17	18	19	20	21	22	23	24	25						
土地利用型作物(豆類)	耕種作物小規模土地基盤整備	26	27	28	29	30	31	32								
	乾燥調製施設	26	27	28	29	30	31	32								
	穀類乾燥調製貯蔵施設	26	27	28	29	30	31	32								
	農産物処理加工施設	27	28	29	30	31	32									
	集出荷貯蔵施設	26	27	28	29	30	31	32								
	産地管理施設	26	27	28	29	30	31	32								
	生産技術高度化施設	26	27	28	29	30	31	32								
土地利用型作物(主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子)	乾燥調製施設	36	37	38	39	40	41	42								
	穀類乾燥調製貯蔵施設	36	37	38	39	40	41	42								
	種子種苗生産関連施設	36	37	38	39	40	41	42								
畑作物・地域特産物(いも類)	育苗施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	54	55				
	産地管理施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	農産物処理加工施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	集出荷貯蔵施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	農作物被害防止施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	種子種苗生産関連施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	生産技術高度化施設	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
	有機物処理・利用施設	46	47	48	49	50	51	52	53							
畑作物・地域特産物(甘味資源作物)	育苗施設	56	57	58	59	60										
	農産物処理加工施設	56	57	58	59	60	61	62	63	64						
	種子種苗生産関連施設	56	57	58	59	60										
	生産技術高度化施設	56	57	58	59	60										
畑作物・地域特産物(茶)	耕種作物小規模土地基盤整備	65	66	67	68	69	70	71	72	73						
	農産物処理加工施設のうち荒茶加工機	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81

	農産物処理加工施設のうち仕上茶加工機	65	71	72	75	76	78	80	81	83											
	集出荷貯蔵施設	68	73	77	78	81															
	産地管理施設	65	66	70	71	74	78	79													
	生産技術高度化施設の うち栽培管理支援施設	65	66	70	71	74	78	79													
	農作物被害防止施設のうち防霜施設、 病害虫防除施設	66	67	70	71	74	78	79	82	83											
畑作物・地域特産物 (いぐさ・量表)	育苗施設	84	85	86	87	89															
	乾燥調製施設	84	85	86	87	89															
	農産物処理加工施設	84	85	86	87	88	89														
	集出荷貯蔵施設	84	85	86	87	89															
	産地管理施設	84	85	86	87	88	89														
	生産技術高度化施設	84	85	86	87	89															
畑作物・地域特産物 (その他)	耕種作物小規模土地基盤整備	90	91	92	93	94	96	98	99												
	育苗施設	90	91	92	93	94	96	97	99												
	乾燥調製施設	90	91	92	93	94	96	97	99												
	農産物処理加工施設	91	92	93	94	95	96	100	101												
	集出荷貯蔵施設	90	91	92	93	94	96	97	99												
	産地管理施設	90	91	92	93	94	96	98	99												
	生産技術高度化施設	90	91	92	93	94	96	98	99												
果樹	耕種作物小規模土地基盤整備	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113										
	育苗施設	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113										
	農産物処理加工施設	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113										
	集出荷貯蔵施設	102	103	104	106	107	108	109	110	114											
	産地管理施設	102	103	104	105	106	107	108	110	113											
	農作物被害防止施設	103	108	109	110	111	112	113													
	生産技術高度化施設	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113	114	115								
	種子・苗木生産関連施設	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113										
	有機物処理・利用施設	102	103	105	106	107	108														
	農業廃棄物処理施設	102	103	104	105	106	107	108	109	110	113										
	野菜	耕種作物小規模土地基盤整備	116	117	118	119	120	121	122	123											
		育苗施設	116	117	118	119	120	121	122	123	126										
農産物処理加工施設		116	117	118	119	120	121	122	123												
集出荷貯蔵施設		116	117	119	120	121	122	123	127												
産地管理施設		116	117	118	119	120	121	122	123	126											
農作物被害防止施設		117	121	122	124	125	126														
生産技術高度化施設		116	117	118	119	120	121	122	123	126	127	128									
種子・苗木生産関連施設		116	117	118	119	120	121	122	123	126											
有機物処理・利用施設		116	117	118	119	120	121														
農業廃棄物処理施設		116	117	118	119	120	121	122	123	126											
花き	耕種作物小規模土地基盤整備	129	130	131	132	133	134	135	136												
	育苗施設	129	130	131	132	133	134	135	136	139											
	農産物処理加工施設	129	130	132	133	134	135	136													
	集出荷貯蔵施設	129	130	132	133	134	135	136													
	産地管理施設	129	130	131	132	133	134	135	136	137											
	用土等供給施設	129	130	131	132	133	134	135	136												
	農作物被害防止施設	130	134	136	137	138	139														
	生産技術高度化施設	129	130	131	132	133	134	135	136	139	140	141									
	種子・苗木生産関連施設	129	130	131	132	133	134	135	136	139											
	有機物処理・利用施設	129	130	131	132	133	134	135													
	農業廃棄物処理施設	129	130	131	132	133	134	135	136	139											
	環境保全型農業（注） 1	耕種作物小規模土地基盤整備	142	143																	
育苗施設		143	144																		
用土等供給施設		142	143																		

	農作物被害防止施設	143	144														
	種子種苗生産関連施設	143	144														
	有機物処理・利用施設（地域資源肥料化処理施設を除く。）	142	143														
	有機物処理・利用施設のうち地域資源肥料化処理施設	142	143	145													
畜産周辺環境影響低減（注）2	浄化处理施設	146	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	
		166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	
		181	182														
	脱臭施設	147	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	
		166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	
		181	182														
国産原材料サプライチェーン構築（注）3	耕種作物小規模土地基盤整備	148															
	育苗施設	148															
	乾燥調製施設	148															
	穀類乾燥調製貯蔵施設	148															
	農産物処理加工施設	148															
	集出荷貯蔵施設	148															
	産地管理施設	148															
	農作物被害防止施設	148															
	生産技術高度化施設	148															
	種子種苗生産関連施設	148															
	畜産物処理加工施設	148															
	家畜飼養管理施設	148															
	青果物広域流通システム構築(注) 4	集出荷貯蔵施設	149														
畜産生産基盤育成強化（注）5	畜産物処理加工施設	150	151	153	154	155	156	171	172	175	176	180	181	183			
	家畜飼養管理施設	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	
		167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	
		182	183														
家畜改良増殖	家畜改良増殖関連施設（牛肉）	184	185	186	187												
	家畜改良増殖関連施設（豚肉）	188	189	190	191	192											
	家畜改良増殖関連施設（鶏肉）	193	194	195	196												
	家畜改良増殖関連施設（鶏卵）	197	198	199	200												
	家畜改良増殖関連施設（馬及び特用家畜）	201	202	203	204												
飼料増産	飼料作物作付条件整備	205	206	207	208	209	210	211	212	213							
	放牧利用条件整備	205	206	207	208	209	210	211	212	213							
	水田飼料作物作付条件整備	205	206	207	208	209	210	211	212	213							
	家畜飼養管理施設	205	206	207	208	209	210	211	212	213							
	自給飼料関連施設	205	206	207	208	209	210	211	212	213							
飼料増産(地域未利用資源の飼料利用)	自給飼料関連施設	214	215	216	217												
食肉等流通体制整備	産地食肉センター	218	219	220	221												
	家畜市場	222	223	224													
	食鳥処理施設	225	226	227													
	鶏卵処理施設	228	229	230	231												
農畜産物輸出に向けた体制整備（注）6	耕種作物産地基幹施設整備	232															
	畜産物産地基幹施設整備	232															
「強み」のある産地形成に向けた体制整備（注）7	小規模土地基盤整備	233	234	235													
	飼料作物作付及び家畜放牧等条件整備	233	234	235													
	耕種作物産地基幹施設整備	233	234	235													
	畜産物産地基幹施設整備	233	234	235													

(注) 1: 環境保全型農業の取組で有機物処理・利用施設のうち地域資源肥料化処理施設を整備する場合は、145を必須とし、142又は143の中から成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。

2: 畜産周辺環境影響低減の取組を行う場合は、以下のとおりとする。

(1) 浄化処理施設を整備する場合は、146を必須とし、152から182の中から施設内において飼養する畜種に応じた成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。

(2) 脱乳施設を整備する場合は、147を必須とし、152から182の中から施設内において飼養する畜種に応じた成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。

3: 国産原材料サプライチェーン構築の取組を行う場合は148を必須とし、当該施設で取り扱う作物等（野菜、果樹、麦類、豆類、地域特産物及び畜産物）の成果目標から1つ、合計2つの成果目標を立てることができる。

4: 青果物広域流通システム構築の取組を行う場合は149を必須とし、当該施設で取り扱う作物（野菜及び果樹）の成果目標から1つ、合計2つの成果目標を立てることができる。

5: 畜産生産基盤育成強化の取組で家畜飼養管理施設を整備する場合は、当該施設において飼養する畜種に応じた成果目標を選択すること。

6: 農畜産物輸出に向けた体制整備の取組を行う場合は、232を必須とし、対応するメニュー（土地利用型作物、畑作物・地域特産物、果樹、野菜、花き及び食肉等流通体制整備）及び整備する施設（食肉等流通体制整備の家畜市場を除く。）に対応した成果目標から1つ、合計2つの成果目標を立てることができる。

7: 「強み」のある産地形成に向けた体制整備の取組を行う場合は、233を必須とし、234又は235の中から成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てることができる。

各メニューの中で整備する施設等は以下のとおりとする。また、類別欄に定める番号の達成すべき成果目標基準、ポイント等は別表1-2-②のとおりとする。

(注) 1：穀類乾燥機・製粉施設等再編利用の取組を行う場合は1から5の中から成果目標を1つ、別表1-2-①の当該施設で取り扱う作物（稲、麦、大豆等）の成果目標から1つ、合計2つの成果目標を立てること。
2：集出荷施設等再編利用の取組を行う場合は6を必須とし、別表1-2-①の当該施設で取り扱う作物（野菜、果樹及び花き）の成果目標から1つ、合計2つの成果目標を立てること。
3：農産物処理加工施設等再編利用の取組を行う場合は7を必須とし、8から17までの中から成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。
4：食肉等流通体制再編整備のうち畜産市場の再編を行う場合は18、食鳥処理施設又は鶏卵処理施設の再編を行う場合は19を必須とし、別表1-2-①の食肉等流通体制整備の成果目標のうち当該施設に対応したものから1つ、合計2つの成果目標を立てること。

各メニューの整備内容は、以下のとおりとする。また、類別欄に定める番号の達成すべき成果目標基準、ポイント等は別表1-2-③のとおりとする。

[illegible]

	有機物処理・利用施設（地域資源肥料化処理施設を除く。）	11	12																
	有機物処理・利用施設のうち地域資源肥料化処理施設	11	12	13															
	油糧作物処理加工施設	14	15																
	バイオエーゼン燃料製造供給施設	16	17																
環境保全（小規模公害防除）	耕種作物小規模土地基盤整備	18	19																
環境保全（農業廃棄物の再生処理）	農業廃棄物処理施設	20	21																
病害虫まん延防止対策	産地管理施設	22	23	24															
	農産物被害防止施設	22	23	24															
	種子種苗生産関連施設	22	23	24															
	農産物処理加工施設	22	23	24															
	集出荷貯蔵施設	22	23	24															

(注)

- 資材高騰等のリスク軽減の取組で産地管理施設のうち土壌診断関連の施設を整備する場合は8又は9を必須とし、6又は7の中から成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。
- 資材高騰等のリスク軽減の取組で有機物処理・利用施設のうち地域資源肥料化処理施設を整備する場合は、13を必須とし、11又は12の中から成果目標を1つ、合計2つの成果目標を立てること。

別表1-2-①（産地収益力の強化に向けた総合的推進）

同じメニューの中から達成すべき成果目標及び成果目標に対する現況値を1つ又は2つ選択できるものとする。

また複数の作物（メニュー）に関連する施設等の整備を行う場合は、主要な2つの作物（メニュー）の達成すべき成果目標を1つずつ選択するものとする。

メニュー	類別	達成すべき成果目標基準及びポイント	成果目標に対する現況値ポイント
※新規作物を対象とした施設等の整備を行う場合は、各都道府県1事業実施計画に限り、成果目標に対する現況値ポイントの1つを以下のいずれかの取組で代替できるものとする。……………5ポイント - 各都道府県が策定する普及指導計画に事業実施計画の地区若しくは取組が位置付けられている、又は位置付けられることが確実であること - 生産者、実需者、学識経験者、地方公共団体、その他関係機関が一体となった推進体制を構築するとともに、構成員の役割を明確にした指導方針を都道府県が策定し、これに基づく指導を行うこと			
土地利用型作物 (稲（新規需要米を除く。))	※乾燥調製施設及び穀類乾燥調製貯蔵施設の新設・増設を行う場合は必ず、2つのうち1つの成果目標について、成果目標ポイントの10ポイント満点を5ポイント満点に圧縮し、残りの5ポイントについては、以下のいずれかを選択するものとする。 - 戦略的な販売等のための施設運営を行うため、当該施設において、 ①担い手で構成される組織が施設運営又は担い手で構成される組織へのサイロ単位等施設の部分貸与に取り組む計画となっている場合……………5ポイント ②担い手に対しての大口割引や平日割引等優先配慮に取り組む計画となっている場合……………3ポイント - 事業対象作物について、JGAP若しくはGLOBALG.A.P.の認証を取得している場合又は「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」に準拠したGAPに基づき生産し、都道府県等公的機関による第三者の確認を受けている場合（ただし、農畜産物輸出に向けた体制整備を行う場合であって、別表1の232の②を選択する場合は、本項目は選べない） ①受益農業者の全て又は受益面積の全てで上記GAPを取得している場合……………5ポイント ②受益農業者の過半又は受益面積の過半で上記GAPを取得している場合……………3ポイント		
	1	・小売店や個人消費者等に対しての直接販売又は中食・外食用等向けの原料用等米の契約栽培の取組（出荷団体等を介した複数者間による直接契約も含む。）について、その取扱量の割合が10ポイント以上増加。 30ポイント以上……………10ポイント 25ポイント以上……………8ポイント 20ポイント以上……………6ポイント 15ポイント以上……………4ポイント 10ポイント以上……………2ポイント	・小売店や個人消費者等に対しての直接販売又は中食・外食用等向けの原料用等米の契約栽培の取組（出荷団体等を介した複数者間による直接契約も含む。）について、その取扱量の割合が10.0%以上。 40.0%以上……………5ポイント 32.5%以上……………4ポイント 25.0%以上……………3ポイント 17.5%以上……………2ポイント 10.0%以上……………1ポイント 又は、 ・現状の品質分析の実施生産者（又は受益面積）の実施割合について ① 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦ともに90%以上……………5ポイント ② 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦ともに80%以上……………4ポイント ③ 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦ともに70%以上……………3ポイント ④ 稲（米の内部品質について1種類の指標を分析）・麦ともに70%以上……………2ポイント ⑤ 稲（米の内部品質について1種類の指標を分析）で70%以上……………1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別5の現況値を選択することはできない。
	2	・10a 当たり物財費を1%以上削減。 8%以上……………10ポイント 6%以上……………8ポイント 4%以上……………6ポイント 2%以上……………4ポイント 1%以上……………2ポイント	・現状の10a 当たり物財費について 都道府県平均値より15%以上下回る場合……………5ポイント 都道府県平均値より10%以上下回る場合……………4ポイント 都道府県平均値より5%以上下回る場合……………3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、1つを3年以上取り組んでいる場合……………3ポイント
	3	・10a 当たり労働時間を10%以上削減。 26%以上……………10ポイント	・現状の10a 当たり労働時間について 都道府県平均値より30%以上下回る場合……………5ポイント

	22%以上・・・・・・・・・・8ポイント 18%以上・・・・・・・・・・6ポイント 14%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント	都道府県平均値より20%以上下回る場合・・4ポイント 都道府県平均値より10%以上下回る場合・・3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲の生産に係る労働時間削減に資する取組のうち、1つを3年以上取り組んでいる場合・・・・3ポイント
4	・品質分析（米の食味値等（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）の結果、①食味値②アミロース値（%）③タンパク値（%）④その他①～③と同程度の品質向上指標、のうち2項目以上が、事業実施年度の前（又は前5中3）より改善されているとともに、タンパク値（%）について分析結果が0.1ポイント以上低下。 0.8ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 0.6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 0.4ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 0.2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 0.1ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント かつ、 (a)区分集荷(b)区分販売(c)農家への精算(d)施肥等生産技術への反映について、分析結果を(a)～(d)のうち 4つの項目に反映する場合・・・・・・・・・・5ポイント 3つの項目に反映する場合・・・・・・・・・・4ポイント 2つの項目に反映する場合・・・・・・・・・・3ポイント 1つの項目に反映する場合・・・・・・・・・・2ポイント	・品質分析（米のタンパク値（%））の結果が、事業実施年度の前（又は前5中3）と比較して0.1ポイント以上低い。 0.8ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 0.6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 0.4ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 0.2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 0.1ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
5	・重金属等の有害物質の低減に取り組む面積を5ポイント以上増加。（ただし、作付面積全体に占める重金属等の有害物質の低減に取り組む面積の割合を10%以上確保するものとする） 25ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・重金属等の有害物質の低減に取り組む面積が作付面積全体に占める割合に対して5.0%以上。 38.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 29.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 21.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 13.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は、 ・現状の品質分析の実施生産者（又は受益面積）の実施割合について、 ① 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦とともに90%以上・・・・・・・・・・5ポイント ② 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦とともに80%以上・・・・・・・・・・4ポイント ③ 稲（米の内部品質について2種類以上の指標を分析）・麦とともに70%以上・・・・・・・・・・3ポイント ④ 稲（米の内部品質について1種類の指標を分析）・麦ともに70%以上・・・・・・・・・・2ポイント ⑤ 稲（米の内部品質について1種類の指標を分析）で70%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別1の現況値を選択することはできない。
6	・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積（持続農業法に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を都道府県等行政機関から受けている面積の合計）の割合を1ポイント以上増加。 40ポイント以上増加又は増加した結果 取り組む面積の割合が100%に到達・・・・・・・・・・10ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積の割合が、全国の平均である25%以上。 60%以上・・・・・・・・・・5ポイント 50%以上・・・・・・・・・・4ポイント 40%以上・・・・・・・・・・3ポイント 30%以上・・・・・・・・・・2ポイント 25%以上・・・・・・・・・・1ポイント

	※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別7の成果目標を選択することはできない。	
7	・事業の受益に係る販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者（持続農業法に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を都道府県等行政機関から受けている農業者の合計）の割合を1ポイント以上増加。 50ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 40ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別6の成果目標を選択することはできない。	・事業の受益に係る販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者割合が1%以上。 35%以上・・・・・・・・・・5ポイント 20%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
8	・事業実施地区における1等比率を事業実施年度の前7中5平均の値と比べて6ポイント以上改善。 10ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 又は ・事業実施地区における下位等級指数（1等以外の数量を全出荷量で除して100を乗じたもの）を10%以上削減。 事業実施年度の前7中5平均の値と比べて 5割以上削減・・・・・・・・・・10ポイント 4割以上削減・・・・・・・・・・8ポイント 3割以上削減・・・・・・・・・・6ポイント 2割以上削減・・・・・・・・・・4ポイント 1割以上削減・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における1等比率の直近7中5平均が40%以上。 80%以上・・・・・・・・・・5ポイント 70%以上・・・・・・・・・・4ポイント 60%以上・・・・・・・・・・3ポイント 50%以上・・・・・・・・・・2ポイント 40%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は ・産地単位の取組として、高温障害対策について『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』及び『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を都道府県の策定する指針等に基づいて実施している場合・・・・・・・・・・5ポイント 『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』又は『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を都道府県の策定する指針等に基づいて実施している場合・・・・・・・・・・3ポイント ※一つの取組において、本現況値のうち高温障害対策を選択した場合は、類別9の現況値のうち高温障害対策を選択することはできない。
9	・事業実施地区における高温耐性品種※（複数品種がある場合はその合計）の作付割合を1ポイント以上向上。 5ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 又は ・事業実施地区における高温耐性品種※（複数品種がある場合はその合計）の作付割合を1ポイント以上向上。 5ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント かつ、 ・産地単位の取組として、高温障害対策について、今後新たに『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』及び『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を実施する場合・・・・・・・・・・5ポイント 『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』又は『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を実施する場合・・・・・・・・・・3ポイント ※（国研）農業・食品産業技術総合研究機構や各都道府県の農業試験場において、高温耐性を有する品種（もしくは登熟期に高温に遭遇することが回避可能な品種）として育成された品種、又は、従来品種と比較して高温耐性を有することが客観データ（一等米比率等）で示すことが可能な品種に限るものとする。	・事業実施地区における高温耐性品種（複数品種がある場合はその合計）の作付割合が1%以上。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は ・産地単位の取組として、高温障害対策について『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』及び『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を都道府県の策定する指針等に基づいて実施している場合・・・・・・・・・・5ポイント 『慣行栽培より作期を遅らせる遅植栽培』又は『かけ流し灌漑や適正施肥等の営農技術』を都道府県の策定する指針等に基づいて実施している場合・・・・・・・・・・3ポイント ※一つの取組において、本現況値のうち高温障害対策を選択した場合は、類別8の現況値のうち高温障害対策を選択することはできない。

土地利用型作物 (新規需要米) ※新規需要米とは、米粉用米及び飼料用米をいう。以下同じ。	※乾燥調製施設及び穀類乾燥調製貯蔵施設の新設・増設を行う場合は必ず、2つのうち1つの成果目標について、成果目標ポイントの10ポイント満点を5ポイント満点に圧縮し、残りの5ポイントについては、以下のいずれかを選択するものとする。 ・事業実施地区における新規需要米の作期を、品種の選定、栽培技術の導入等によって主食用米とずらし、施設利用の効率化及び用途に応じた分別管理に取り組む計画となっている場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5ポイント ・気象情報を活用し、立毛乾燥の推進に取り組む計画となっている場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ポイント ・事業対象作物について、JGAP若しくはGLOBALG.A.P.の認証を取得している場合又は「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」に準拠したGAPに基づき生産し、都道府県等公的機関による第三者の確認を受けている場合（ただし、農畜産物輸出に向けた体制整備を行う場合であって、別表1の232の③を選択する場合は、本項目は選べない） ①受益農業者の全て又は受益面積の全てで上記GAPを取得している場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5ポイント ②受益農業者の過半又は受益面積の過半で上記GAPを取得している場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ポイント		
10	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ・事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が4ポイント以上増加。 12ポイント以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント </td><td style="vertical-align: top;"> ・現状の事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が2.0%以上。ただし、事業実施地区が所在する都道府県における水稻作付面積に対する新規需要米の作付面積の割合を上回るものとする。 8.0%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 3.5%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 2.0%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント </td></tr> </table>	・事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が4ポイント以上増加。 12ポイント以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・現状の事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が2.0%以上。ただし、事業実施地区が所在する都道府県における水稻作付面積に対する新規需要米の作付面積の割合を上回るものとする。 8.0%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 3.5%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 2.0%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
・事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が4ポイント以上増加。 12ポイント以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・現状の事業実施地区における水稻作付面積のうち、新規需要米が占める面積割合が2.0%以上。ただし、事業実施地区が所在する都道府県における水稻作付面積に対する新規需要米の作付面積の割合を上回るものとする。 8.0%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 3.5%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 2.0%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント		
11	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ・事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種の作付面積の占める割合が20ポイント以上増加。 40ポイント以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 35ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・ 1ポイント かつ、 ・事業実施地区における多収性の専用品種の栽培に当たって、(a)土壌・生育診断結果を反映した施肥管理、(b)耕畜連携体制の構築による堆肥の利用、(c)大豆等他作物との輪作体系の確立による肥料費の抑制の各項目に新たにに取り組む場合 (a)、(b)、(c)の全てに取り組む場合・・・・・・・・・・ 5ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか2つに取り組む場合・ 3ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか1つに取り組む場合・ 1ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別16の成果目標を選択することはできない。 </td><td style="vertical-align: top;"> ・現状の事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種（知事特認品種を含む。）の作付面積の割合が10%以上。 50%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 40%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント </td></tr> </table>	・事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種の作付面積の占める割合が20ポイント以上増加。 40ポイント以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 35ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・ 1ポイント かつ、 ・事業実施地区における多収性の専用品種の栽培に当たって、(a)土壌・生育診断結果を反映した施肥管理、(b)耕畜連携体制の構築による堆肥の利用、(c)大豆等他作物との輪作体系の確立による肥料費の抑制の各項目に新たにに取り組む場合 (a)、(b)、(c)の全てに取り組む場合・・・・・・・・・・ 5ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか2つに取り組む場合・ 3ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか1つに取り組む場合・ 1ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別16の成果目標を選択することはできない。	・現状の事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種（知事特認品種を含む。）の作付面積の割合が10%以上。 50%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 40%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
・事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種の作付面積の占める割合が20ポイント以上増加。 40ポイント以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 35ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・ 1ポイント かつ、 ・事業実施地区における多収性の専用品種の栽培に当たって、(a)土壌・生育診断結果を反映した施肥管理、(b)耕畜連携体制の構築による堆肥の利用、(c)大豆等他作物との輪作体系の確立による肥料費の抑制の各項目に新たにに取り組む場合 (a)、(b)、(c)の全てに取り組む場合・・・・・・・・・・ 5ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか2つに取り組む場合・ 3ポイント (a)、(b)、(c)のいずれか1つに取り組む場合・ 1ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別16の成果目標を選択することはできない。	・現状の事業実施地区における新規需要米の作付面積のうち、米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種（知事特認品種を含む。）の作付面積の割合が10%以上。 50%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 40%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント		
12	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ・新規需要米の10a当たり物財費が事業実施地区における直近の水稻全体の物財費に対して95%以下。 85%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 87.5%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 90%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 92.5%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 95%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別14の成果目標を選択することはできない。 </td><td style="vertical-align: top;"> ・現状の水稻について 10a当たり物財費が都道府県平均値を11%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を8%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 4ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を5%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XXX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲又は飼料用米の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、2つ以上に取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 2ポイント 1つに取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 1ポイント </td></tr> </table>	・新規需要米の10a当たり物財費が事業実施地区における直近の水稻全体の物財費に対して95%以下。 85%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 87.5%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 90%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 92.5%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 95%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別14の成果目標を選択することはできない。	・現状の水稻について 10a当たり物財費が都道府県平均値を11%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を8%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 4ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を5%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XXX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲又は飼料用米の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、2つ以上に取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 2ポイント 1つに取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 1ポイント
・新規需要米の10a当たり物財費が事業実施地区における直近の水稻全体の物財費に対して95%以下。 85%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 87.5%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 90%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 92.5%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 95%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別14の成果目標を選択することはできない。	・現状の水稻について 10a当たり物財費が都道府県平均値を11%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を8%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 4ポイント 10a当たり物財費が都道府県平均値を5%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XXX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲又は飼料用米の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、2つ以上に取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 2ポイント 1つに取り組んでいる場合・・・・・・・・・・ 1ポイント		
13	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ・新規需要米の10a当たり労働時間が事業実施地区における直近の水稻全体の労働時間に対して85%以下。 65%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 70%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 75%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 80%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 85%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント </td><td style="vertical-align: top;"> ・現状の水稻について 10a当たり労働時間が都道府県平均値を20%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり労働時間が都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は </td></tr> </table>	・新規需要米の10a当たり労働時間が事業実施地区における直近の水稻全体の労働時間に対して85%以下。 65%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 70%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 75%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 80%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 85%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント	・現状の水稻について 10a当たり労働時間が都道府県平均値を20%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり労働時間が都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は
・新規需要米の10a当たり労働時間が事業実施地区における直近の水稻全体の労働時間に対して85%以下。 65%以下・・・・・・・・・・ 10ポイント 70%以下・・・・・・・・・・ 8ポイント 75%以下・・・・・・・・・・ 6ポイント 80%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 85%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント	・現状の水稻について 10a当たり労働時間が都道府県平均値を20%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 5ポイント 10a当たり労働時間が都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・・・・・・・・ 3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は		

		は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XXX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲又は飼料用米の生産に係る労働時間削減に資する取組のうち、 2つ以上に取り組んでいる場合・・・2ポイント 1つに取り組んでいる場合・・・1ポイント
14	・新規需要米の60kg当たり物財費が事業実施地区における直近の水稲全体の物財費に対して95%以下。 85%以下・・・10ポイント 87.5%以下・・・8ポイント 90%以下・・・6ポイント 92.5%以下・・・4ポイント 95%以下・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別12の成果目標を選択することはできない。	・現状の水稲について 60kg当たり物財費が都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・5ポイント 60kg当たり物財費が都道府県平均値を5%以上下回る場合・・・3ポイント 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、稲又は飼料用米の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、 2つ以上に取り組んでいる場合・・・2ポイント 1つに取り組んでいる場合・・・1ポイント
15	・地場製粉等の加工（事業実施地区の生産物を当該地区が所在する産地の施設等において製粉等の加工を行うこと）により新規需要米の販売単価（新規需要米の単位重量当たりに換算）が50%以上増加。 150%以上・・・10ポイント 125%以上・・・8ポイント 100%以上・・・6ポイント 75%以上・・・4ポイント 50%以上・・・2ポイント	・現状の事業実施地区における新規需要米の販売単価について 前年から増加・・・2ポイント 取組開始年から増加・・・1ポイント かつ、 ・新規需要米の販売先と複数年の販売契約を有している場合・・・3ポイント
16	・新規需要米の単収が事業実施地区における直近の水稲全体の平均単収に対して105%以上。 125%以上・・・10ポイント 120%以上・・・8ポイント 115%以上・・・6ポイント 110%以上・・・4ポイント 105%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別11の成果目標を選択することはできない。	・現状の事業実施地区における新規需要米の生産が米粉・飼料用米向けに育成された多収性の専用品種（知事特認品種を含む。）によって行われている割合が20%以上。 100%・・・5ポイント 80%以上・・・4ポイント 60%以上・・・3ポイント 40%以上・・・2ポイント 20%以上・・・1ポイント
土地利用型作物 (麦)	※乾燥調製施設及び穀類乾燥調製貯蔵施設の新設・増設を行う場合は必ず、2つのうち1つの成果目標について、成果目標ポイントの10ポイント満点を5ポイント満点に圧縮し、残りの5ポイントについては、以下のいずれかを選択するものとする。 ・事業実施地区において、複数品種又は麦種による作付体系（作付面積比率が25%以上）へと転換することによって施設利用の効率化に取り組む場合・・・5ポイント ※作付面積比率＝A/B A：事業実施地区に作付けられている麦について、上位1品種（もしくは上位1麦種）を除いた作付面積の合計 B：事業実施地区における麦作付面積 ・事業対象作物について、JGAP若しくはGLOBAL G.A.P.の認証を取得している場合又は「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」に準拠したGAPに基づき生産し、都道府県等公的機関による第三者の確認を受けている場合・・・5ポイント ・事業実施地区において、新たに品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている技術等に2つ以上取り組む場合・・・3ポイント	
17	・民間流通におけるは種前契約の契約数量又は作付面積の割合が事業実施前年度に比べて5%以上増加。 25%以上・・・10ポイント 20%以上・・・8ポイント 15%以上・・・6ポイント 10%以上・・・4ポイント 5%以上・・・2ポイント	・直近年の民間流通におけるは種前契約の契約数量又は作付面積について、直近5年前（5年遡る事が困難な場合は直近3年前）と比較した増加割合が5%以上。 25%以上・・・5ポイント 20%以上・・・4ポイント 15%以上・・・3ポイント 10%以上・・・2ポイント 5%以上・・・1ポイント 又は、 ・事業実施地区の既存の乾燥調製施設の麦における利用率（計

		画処理量の設定の際の荷受原料の水分設定値と、実際の荷受原料の水分値が大きく異なる場合は、実際の水分値を計画処理量の設定の際の水分値に補正することで算出した処理量をもって利用率を算出することも可とする。）について、直近5年間（5年遡る事が困難な場合は直近3年間）の平均値が100%以上。 114%以上・・・・・・・・・・5ポイント 110.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 107%以上・・・・・・・・・・3ポイント 103.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 100%以上・・・・・・・・・・1ポイント
18	・裏作麦の作付拡大により麦の増産に取り組む地域において、事業実施地区における麦の作付面積に占める裏作麦の作付面積の割合が7ポイント以上増加。 11ポイント以上・・・・・・・・10ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・6ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・4ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・2ポイント	・直近年の事業実施地区における麦の作付面積のうち裏作麦の割合が6%以上。 17%以上・・・・・・・・・・5ポイント 14%以上・・・・・・・・・・4ポイント 11%以上・・・・・・・・・・3ポイント 8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 6%以上・・・・・・・・・・1ポイント
19	・10又は60kg当たり物財費を3%以上削減。 7%以上・・・・・・・・・・10ポイント 6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近年の10aもしくは60kg当たり物財費について 都道府県平均値を15%以上下回る場合・・・5ポイント 都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・4ポイント 都道府県平均値を5%以上下回る場合・・・3ポイント ※都道府県平均値の統計データが無い場合は、ブロック別平均値を用いることも可とする。 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、麦の生産に係る物財費削減に資する取組のうち、 1つを3年以上取り組んでいる場合・・・・3ポイント
20	・10a当たり労働時間を3%以上削減。 7%以上・・・・・・・・・・10ポイント 6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の10a当たり労働時間について 都道府県平均値を30%以上下回る場合・・・5ポイント 都道府県平均値を20%以上下回る場合・・・4ポイント 都道府県平均値を10%以上下回る場合・・・3ポイント ※都道府県平均値の統計データが無い場合は、ブロック別平均値を用いることも可とする。 又は、 ・現在、コスト削減の取組として、事業実施地区の作付面積又は生産量の過半数において、品目別生産コスト削減戦略及び農業新技術20XX、最新農業技術・品種20XXに記載されている、麦の労働時間削減に資する取組のうち、 1つを3年以上取り組んでいる場合・・・・3ポイント
21	・国内産小麦の加工適性試験（100点満点）において、総合評価の合計点が0.4ポイント以上増加。 2.0ポイント以上・・・・・・・・10ポイント 1.6ポイント以上・・・・・・・・8ポイント 1.2ポイント以上・・・・・・・・6ポイント 0.8ポイント以上・・・・・・・・4ポイント 0.4ポイント以上・・・・・・・・2ポイント	・国内産小麦の加工適性試験（100点満点）において、めん用品種についてはASW並、パン用品種ではHRW並の加工適正を持つことを目標に、現在、それぞれの品種との総合評価の合計点の得点差が以下のポイント以内。 ・めん用品種の場合 1.7ポイント以内・・・・・・・・5ポイント 2.5ポイント以内・・・・・・・・4ポイント 3.4ポイント以内・・・・・・・・3ポイント 4.3ポイント以内・・・・・・・・2ポイント 5.2ポイント以内・・・・・・・・1ポイント ・パン用品種の場合 0.4ポイント以内・・・・・・・・5ポイント 1.5ポイント以内・・・・・・・・4ポイント 2.5ポイント以内・・・・・・・・3ポイント 3.6ポイント以内・・・・・・・・2ポイント

		4.6ポイント以内・・・・・・・・・・1ポイント
	22 ・事業実施地区における、現状の小麦作付面積に対するパン・中華めん用品種の作付面積の増加面積の割合が9%以上。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 13.5%以上・・・・・・・・・・8ポイント 12%以上・・・・・・・・・・6ポイント 10.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※増加面積の割合の算定式 増加面積割合＝（目標年度のパン・中華麺用品種の作付面積／目標年度の小麦の作付面積）÷（事業実施前の直近年のパン・中華麺用品種の作付面積／事業実施前の直近年の小麦の作付面積）	・直近年の事業実施地区における小麦作付面積の対するパン・中華めん用品種の占める割合が9%以上。 25%以上・・・・・・・・・・5ポイント 21%以上・・・・・・・・・・4ポイント 17%以上・・・・・・・・・・3ポイント 13%以上・・・・・・・・・・2ポイント 9%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	23 ・人工衛星又は航空機等による上空からの撮影画像の解析と気象情報の活用によって雨害の回避（高水分収穫）、収穫順序の決定及び乾燥調製施設の荷受数量の平準化に取り組む面積について、麦全体の作付面積に占める割合を10ポイント以上増加かつその取組面積を70%以上確保。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 17.5ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 12.5ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・人工衛星又は航空機等による上空からの撮影画像の解析と気象情報の活用によって雨害の回避（高水分収穫）、収穫順序の決定及び乾燥調製施設の荷受数量の平準化に取り組む麦の作付面積の割合が60%以上。 80%以上・・・・・・・・・・5ポイント 75%以上・・・・・・・・・・4ポイント 70%以上・・・・・・・・・・3ポイント 65%以上・・・・・・・・・・2ポイント 60%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	24 ・単収を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近年の事業実施地区の麦の単収が当該都道府県の平均単収に対して101%以上。 107%以上・・・・・・・・・・5ポイント 105.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 104%以上・・・・・・・・・・3ポイント 102.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 101%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	25 ・事業実施地区における1等比率を事業実施年度の直近7中5年間平均の値と比べて5ポイント以上向上。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12.5ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 7.5ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 又は ・事業実施地区における下位等級指数（1等以外の数量を全出荷量で除して100を乗じたもの）を1割以上削減。 事業実施年度の直近7中5平均の値と比べて 5割以上削減・・・・・・・・・・10ポイント 4割以上削減・・・・・・・・・・8ポイント 3割以上削減・・・・・・・・・・6ポイント 2割以上削減・・・・・・・・・・4ポイント 1割以上削減・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における1等比率の直近7中5年間の平均が60%以上 80%以上・・・・・・・・・・5ポイント 75%以上・・・・・・・・・・4ポイント 70%以上・・・・・・・・・・3ポイント 65%以上・・・・・・・・・・2ポイント 60%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は ・産地単位の取組として、品質向上のため、以下の取組を都道府県の策定する指針等に基づいて実施している。 5つ以上取り組んでいる場合・・・・・・・・・・5ポイント 3つ以上取り組んでいる場合・・・・・・・・・・3ポイント 1つ以上取り組んでいる場合・・・・・・・・・・1ポイント ・病害虫耐性の強い新品種への転換 ・栽培実証試験の実施と栽培マニュアルの作成 ・実需者と連携した加工適性試験を実施し実需者ニーズを栽培方法等へ反映 ・弾丸暗渠施工等排水対策の徹底 ・収穫期の雨害回避のための収穫作業の共同組織化 ・赤かび病等の防除の徹底 ・その他各都道府県が指導している品質向上に資する取組
土地利用型作物 (豆類)	26 ・豆類の上位等級（1、2等）比率を50%以上とし、かつ、事業開始年前年から15ポイント以上向上。 35ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の地区の事業開始年前年の上位等級比率（前5中3）が全国平均値（前5中3）と比較して3ポイント以上。 15ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント

27	・豆類の契約栽培比率（入札取引数量を除く。）が事業開始前年（前5中3）と比較して3ポイント以上向上。（契約栽培比率（入札取引数量を除く。）が40%以上である場合に限る。） 15ポイント以上・・・10ポイント 12ポイント以上・・・8ポイント 9ポイント以上・・・6ポイント 6ポイント以上・・・4ポイント 3ポイント以上・・・2ポイント ・新たに契約栽培に取り組む場合、豆類生産量に占める契約栽培比率（入札取引数量を除く。）が10%以上向上。 30%以上・・・10ポイント 25%以上・・・8ポイント 20%以上・・・6ポイント 15%以上・・・4ポイント 10%以上・・・2ポイント 又は、安定取引のため、以下の取組を新たに1つ以上実施。 ①実需者等への直接販売契約若しくは集荷団体・卸売業者等を介した3社契約（当該契約による生産量が入札取引数量を除いた豆類生産量の10%以上であること） ②複数年契約 ③事前値決め契約 ④実需者との産地交流会の開催 ⑤実需者と連携した新品種・新技術の導入実証 ⑥その他安定取引に直接的に資すると認められる取組 3つ以上・・・5ポイント 2つ以上・・・3ポイント 1つ以上・・・1ポイント	・現状の地区の事業開始前年の契約栽培比率（前5中3）（入札取引数量を除く。）が全国平均値（前5中3）と比較して10ポイント以上高い。 15ポイント以上・・・5ポイント 12ポイント以上・・・4ポイント 9ポイント以上・・・3ポイント 6ポイント以上・・・2ポイント 3ポイント以上・・・1ポイント 又は、安定取引のため、以下の取組を1つ以上実施。 ①実需者等への直接販売契約若しくは集荷団体・卸売業者等を介した3社契約（当該契約による生産量が入札取引数量を除いた豆類生産量の10%以上であること） ②複数年契約 ③事前値決め契約 ④実需者との産地交流会の開催 ⑤実需者と連携した新品種・新技術の導入実証 ⑥その他安定取引に直接的に資すると認められる取組 3つ以上・・・5ポイント 2つ以上・・・3ポイント 1つ以上・・・1ポイント
28	・豆類の単収が事業開始前年（前5中3）と比較して2%以上増加。 10%以上・・・10ポイント 8%以上・・・8ポイント 6%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・現状の地区の事業開始前年の単収（前5中3）が当該都道府県の平均単収（前5中3）と比較して102.0%以上。 127.0%以上・・・5ポイント 120.8%以上・・・4ポイント 114.5%以上・・・3ポイント 108.3%以上・・・2ポイント 102.0%以上・・・1ポイント
29	・豆類の作付面積が事業開始前年（前5中3）と比較して2%以上増加。 10%以上・・・10ポイント 8%以上・・・8ポイント 6%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・事業実施地区における事業開始前年の豆類の作付面積が事業開始前々年（前5中3）と比較して1%以上。 45%以上・・・5ポイント 35%以上・・・4ポイント 25%以上・・・3ポイント 15%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
30	・豆類の10a当たり物財費を6%以上削減。 22%以上・・・10ポイント 18%以上・・・8ポイント 14%以上・・・6ポイント 10%以上・・・4ポイント 6%以上・・・2ポイント	・事業実施地区の事業実施前年の豆類の10a当たり物財費の削減が、当該都道府県の平均値と比較して6%以上。 22%以上・・・5ポイント 18%以上・・・4ポイント 14%以上・・・3ポイント 10%以上・・・2ポイント 6%以上・・・1ポイント
31	・豆類の10a当たり労働時間を7%以上削減。 15%以上・・・10ポイント 13%以上・・・8ポイント 11%以上・・・6ポイント 9%以上・・・4ポイント 7%以上・・・2ポイント	・事業実施地区の事業実施前年の豆類の10a当たり労働時間の削減が、当該都道府県の平均値と比較して7%以上。 15%以上・・・5ポイント 13%以上・・・4ポイント 11%以上・・・3ポイント 9%以上・・・2ポイント 7%以上・・・1ポイント

	32	・豆類の新品種（今まで作付されていなかった従来品種は除く）の作付面積が全体の作付面積に占める割合に対して5ポイント以上増加。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 13ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※「新品種」とは、独立行政法人や都道府県農試において、平成10年以降に育成された豆類の品種をいう。	・豆類の新品種（今まで作付されていなかった従来品種は除く）の作付面積が全体の作付面積に占める割合に対して5.0%以上。 15.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10.0%以上・・・・・・・・・・3ポイント 7.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	33	・事業実施主体（事業実施主体が食品製造業者の場合に限る）の国産豆類の契約栽培比率（事業実施主体が取り扱う全量あるいは、当該県産大豆の契約栽培比率に対する数量割合）が事業開始年前年と比較して30ポイント向上。 50ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 45ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 40ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 35ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該加工施設における事業実施主体が既に産地と行っている国産豆類の契約栽培比率（数量割合）について、事業開始年前年の割合が30%以上。 50%以上・・・・・・・・・・5ポイント 45%以上・・・・・・・・・・4ポイント 40%以上・・・・・・・・・・3ポイント 35%以上・・・・・・・・・・2ポイント 30%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は、 ・当該加工施設における事業実施主体が過去5年以上契約栽培を継続している場合、契約栽培の比率の増加割合が5年前と比較して5ポイント以上増加。 25ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	34	・豆類の上位等級（1、2等）の比率が現状と比較して15ポイント向上。 35ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 25ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の地区の事業開始年前年の上位等級比率（前5中3）が全国平均値（前5中3）と比較して3ポイント以上。 15ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	35	・事業実施主体（事業実施主体が食品製造業者の場合に限る）の国産豆類の使用量（事業実施主体が取り扱う全量あるいは、当該県産大豆の使用量に対する数量割合）が事業開始年前年と比較して22ポイント向上。 30ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 28ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 26ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 24ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 22ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該加工施設における事業実施主体が既に産地と行っている国産豆類の使用割合が事業開始年前年と比較して58%以上。 70%以上・・・・・・・・・・5ポイント 67%以上・・・・・・・・・・4ポイント 64%以上・・・・・・・・・・3ポイント 61%以上・・・・・・・・・・2ポイント 58%以上・・・・・・・・・・1ポイント 又は、 ・当該加工施設における事業実施主体が過去5年以上国産豆類を使用している場合、国産豆類の使用比率が5年前と比較して5ポイント以上増加。 25ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
土地利用型作物 （主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子）	36	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の合格率が4ポイント以上向上。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該地区の主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の合格率について、過去5年のうち80%以上となった年数 5年・・・・・・・・・・5ポイント 4年・・・・・・・・・・4ポイント 3年・・・・・・・・・・3ポイント 2年・・・・・・・・・・2ポイント 1年・・・・・・・・・・1ポイント

	※ただし、事業の対象となる種子の合格率の現状値が90%以上の場合は、以下の成果目標とする。 10ポイント：又は合格率が100% 10ポイント 8ポイント以上 8ポイント 6ポイント以上 6ポイント 4ポイント以上 4ポイント 2ポイント以上 2ポイント	
37	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産面積が3ha以上増加。 15ha以上 10ポイント 12ha以上 8ポイント 9ha以上 6ポイント 6ha以上 4ポイント 3ha以上 2ポイント 又は、 ・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産農家1戸当たりの種子生産面積が3%以上増加。 15%以上 10ポイント 12%以上 8ポイント 9%以上 6ポイント 6%以上 4ポイント 3%以上 2ポイント	・当該地区の主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産面積について、過去5年間の増加が3ha以上。 15ha以上 5ポイント 12ha以上 4ポイント 9ha以上 3ポイント 6ha以上 2ポイント 3ha以上 1ポイント 又は、 ・当該地区の主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産農家1戸当たりの種子生産面積について、過去5年間の増加率が3%以上。 15%以上 5ポイント 12%以上 4ポイント 9%以上 3ポイント 6%以上 2ポイント 3%以上 1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と、直近年の4年前及び5年前の平均値との比較とする。
38	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産に要する10a当たりの労働時間を10%以上削減。 30%以上 10ポイント 25%以上 8ポイント 20%以上 6ポイント 15%以上 4ポイント 10%以上 2ポイント	・当該地区の主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の現状における10a当たりの生産に要する時間が以下の時間未満。 <稲> 35h未満 5ポイント 38h未満 4ポイント 41h未満 3ポイント 44h未満 2ポイント 47h未満 1ポイント <麦> 6h未満 5ポイント 6.5h未満 4ポイント 7h未満 3ポイント 7.5h未満 2ポイント 8h未満 1ポイント <大豆> 12h未満 5ポイント 13h未満 4ポイント 14h未満 3ポイント 15h未満 2ポイント 16h未満 1ポイント
39	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の生産に要する10a当たりの物財費を10%以上削減。 30%以上 10ポイント 25%以上 8ポイント 20%以上 6ポイント 15%以上 4ポイント 10%以上 2ポイント	・当該地区の主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の現状における10a当たりの物財費が以下の金額未満。 <稲> 79,800円未満 5ポイント 84,850円未満 4ポイント 89,900円未満 3ポイント 94,950円未満 2ポイント 100,000円未満 1ポイント <麦> 45,000円未満 5ポイント 48,000円未満 4ポイント 50,000円未満 3ポイント 53,000円未満 2ポイント 55,000円未満 1ポイント <大豆>

			35,000円未満・・・・・・・・・・ 5ポイント 38,000円未満・・・・・・・・・・ 4ポイント 40,000円未満・・・・・・・・・・ 3ポイント 43,000円未満・・・・・・・・・・ 2ポイント 45,000円未満・・・・・・・・・・ 1ポイント
	40	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の種子更新率を事業実施年度の前5中3平均の値と比べて1ポイント以上向上。 5ポイント以上又は種子更新率が100%・・10ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子の種子更新率について、過去5年のうち当該都道府県の平均値以上となった年数。 5年・・・・・・・・・・ 5ポイント 4年・・・・・・・・・・ 4ポイント 3年・・・・・・・・・・ 3ポイント 2年・・・・・・・・・・ 2ポイント 1年・・・・・・・・・・ 1ポイント
	41	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子について、災害対策用種子の備蓄割合を2%以上増加。 10%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 8%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 6%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・事業の対象となる主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子について、現状における災害対策用種子の備蓄割合が2%以上。 10%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 8%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 6%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 4%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 2%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
	42	・①から③のうちいずれかひとつの取組を選択する。 ①主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子生産者の平均年齢を2歳以上引き下げる。 10歳以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 8歳以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 6歳以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 4歳以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 2歳以上・・・・・・・・・・ 2ポイント ②主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子生産者を2名以上増加させる。 10名以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 8名以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 6名以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 4名以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 2名以上・・・・・・・・・・ 2ポイント ③主要農作物種子法（昭和27年5月1日法律第131号）で定められている上限面積の範囲内で、原原種ほ、原種ほ及び指定種子生産ほ場の面積を3ha以上拡大する。（上限面積に到達した場合は10ポイント） 15ha以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 12ha以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 9ha以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 6ha以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 3ha以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・①から④のうちいずれかひとつの取組を選択する。 ①主要農作物種子、雑豆及び落花生の種子生産農家の平均年齢が現状において65歳未満。 55歳未満・・・・・・・・・・ 5ポイント 60歳未満・・・・・・・・・・ 3ポイント 65歳未満・・・・・・・・・・ 1ポイント ②種子更新率が現状において70%以上。 90%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 80%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 70%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント ③他県からの種子生産受託を1県以上受託している。 3県以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 2県以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 1県以上・・・・・・・・・・ 1ポイント ④主要農作物種子法で定められている上限面積の範囲内で、過去5年間に於ける原原種ほ、原種ほ及び指定種子生産ほ場の面積の増加率が3ポイント以上。 9ポイント以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
畑作物・地域特産物（いも類）	43	【でん粉原料用以外】 ・販売金額を4.8%以上増加。 24.0%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 19.2%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 14.4%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 9.6%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別44の成果目標を選択することはできない。	・過去5年間に於ける販売金額の増加割合が2.4%以上増加。 12.0%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 9.6%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 7.2%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 2.4%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
	44	【でん粉原料用以外】 ・販売数量を4%以上増加。	・過去5年間に於ける販売数量の増加割合が2%以上増加。 10%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント

	20%以上・・・・・・・・・・10ポイント 16%以上・・・・・・・・・・8ポイント 12%以上・・・・・・・・・・6ポイント 8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別43の成果目標を選択することはできない。	8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 6%以上・・・・・・・・・・3ポイント 4%以上・・・・・・・・・・2ポイント 2%以上・・・・・・・・・・1ポイント
45	【でん粉原料用以外】 ・契約取引割合を2.8ポイント以上増加。 14ポイント・・・・・・・・・・10ポイント 11.2ポイント・・・・・・・・・・8ポイント 8.4ポイント・・・・・・・・・・6ポイント 5.6ポイント・・・・・・・・・・4ポイント 2.8ポイント・・・・・・・・・・2ポイント	・契約取引割合が22.4%以上。 45.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 39.4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 33.7%以上・・・・・・・・・・3ポイント 28.1%以上・・・・・・・・・・2ポイント 22.4%以上・・・・・・・・・・1ポイント
46	【でん粉原料用】 ・国内産いもでん粉のトン当たり販売単価（全用途の加重平均）を2.2%以上増加。 11.8%以上・・・・・・・・・・10ポイント 8.6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.2%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施主体の国内産いもでん粉販売単価（全用途の加重平均）が、でん粉価格調整制度における交付金算定上の国内産いもでん粉価格より1.1%以上高い。 5.4%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3.2%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2.2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1.1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
47	【でん粉原料用】 ・糖化用販売割合を1.4ポイント以上削減。 7.0ポイント・・・・・・・・・・10ポイント 5.6ポイント・・・・・・・・・・8ポイント 4.2ポイント・・・・・・・・・・6ポイント 2.8ポイント・・・・・・・・・・4ポイント 1.4ポイント・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施主体の糖化用販売割合が38.3%以下。 35.5%以下・・・・・・・・・・5ポイント 36.2%以下・・・・・・・・・・4ポイント 36.9%以下・・・・・・・・・・3ポイント 37.6%以下・・・・・・・・・・2ポイント 38.3%以下・・・・・・・・・・1ポイント
48	【でん粉原料用】 ・トン当たり製造コスト（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律（昭和40年法律第109号）第35条第3号の事業の合理化その他の経営の改善を図るための措置に関する計画中の各工場の製造コストから国が算定した平均的な製造コスト。）より1%以上低い。 10%以上・・・・・・・・・・10ポイント 8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 6%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・平均的な製造コスト（砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律（昭和40年法律第109号）第35条第3号の事業の合理化その他の経営の改善を図るための措置に関する計画中の各工場の製造コストから国が算定した平均的な製造コスト。）より1%以上低い。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
49	【共通】 ・10a 当たり物材費を1.2%以上削減。 6.0%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 3.6%以上・・・・・・・・・・6ポイント 2.4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.2%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・10a 当たり物材費が都道府県又は地域の前5中3と比較して0.6%以上低い。 3.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 2.4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.8%以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 0.6%以上・・・・・・・・・・1ポイント
50	【共通】 ・10a 当たり労働時間を2.6%以上削減。 13.0%以上・・・・・・・・・・10ポイント 10.4%以上・・・・・・・・・・8ポイント 7.8%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5.2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.6%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・10a 当たり労働時間が都道府県又は地域の前5中3と比較して1.3%以上低い。 6.5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 5.2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3.9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2.6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1.3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
51	【共通】 ・10a 当たり単収を2.4%以上増加。 12%以上・・・・・・・・・・10ポイント	・10a 当たり単収が都道府県又は地域の平均単収より1.2%以上高い。 6.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント

		9.6%以上・・・8ポイント 7.2%以上・・・6ポイント 4.8%以上・・・4ポイント 2.4%以上・・・2ポイント	4.8%以上・・・4ポイント 3.6%以上・・・3ポイント 2.4%以上・・・2ポイント 1.2%以上・・・1ポイント
	52	【共通】 ・ジャガイモシストセンチュウの新規発生率を8.1%以下に抑制。 0.1%以下・・・10ポイント 2.7%以下・・・8ポイント 4.5%以下・・・6ポイント 6.3%以下・・・4ポイント 8.1%以下・・・2ポイント	・ジャガイモシストセンチュウ発生面積割合が16.2%以下。 1.8%以下・・・5ポイント 5.4%以下・・・4ポイント 9.0%以下・・・3ポイント 12.6%以下・・・2ポイント 16.2%以下・・・1ポイント
	53	【共通】 ・ジャガイモシストセンチュウ発生ほ場のシスト密度（乾土100g当たり）を5%以上低減。 25%以上・・・10ポイント 20%以上・・・8ポイント 15%以上・・・6ポイント 10%以上・・・4ポイント 5%以上・・・2ポイント	・ジャガイモシストセンチュウ発生ほ場のシスト密度（乾土100g当たり）が70シスト以下。 50シスト以下・・・5ポイント 55シスト以下・・・4ポイント 60シスト以下・・・3ポイント 65シスト以下・・・2ポイント 70シスト以下・・・1ポイント
	54	【共通】 ・用途に応じた加工適性又は病虫害抵抗性を有する品種の作付面積を5ポイント以上増加。 ※「品種」については、平成7年以降に優良品種として認定された品種を対象とする。ただし、成果目標に対する現況値ポイントにあつては、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する品種に限り、平成6年以前に認定された優良品種も対象とする。 20ポイント以上・・・10ポイント 16ポイント以上・・・8ポイント 13ポイント以上・・・6ポイント 9ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント 又は、 ・用途に応じた加工適性又は病虫害抵抗性を有する品種を作付けすることにより、現行のいも類作付面積のうち当該品種の作付けされていない面積における当該品種の作付面積割合を30ポイント以上増加。 40ポイント以上・・・10ポイント 38ポイント以上・・・8ポイント 36ポイント以上・・・6ポイント 33ポイント以上・・・4ポイント 30ポイント以上・・・2ポイント	・用途に応じた加工適性又は病虫害抵抗性を有する品種の作付面積の割合が10%以上。 40%以上・・・5ポイント 32%以上・・・4ポイント 26%以上・・・3ポイント 18%以上・・・2ポイント 10%以上・・・1ポイント
	55	【共通】 ・事業実施地区における被害粒の出荷割合（出荷時の被害数量を全出荷量で除して100を乗じたもの）を1割以上削減。 事業実施年度の前7中5平均の値と比べて 5割以上削減・・・10ポイント 4割以上削減・・・8ポイント 3割以上削減・・・6ポイント 2割以上削減・・・4ポイント 1割以上削減・・・2ポイント	・事業実施地区における被害粒の出荷割合（出荷時の被害数量を全出荷量で除して100を乗じたもの）が3.0%以下。 事業実施年度の前7中5平均の値が 1.0%以下・・・5ポイント 1.5%以下・・・4ポイント 2.0%以下・・・3ポイント 2.5%以下・・・2ポイント 3.0%以下・・・1ポイント
畑作物・地域特産物 (甘味資源作物)	56	・単収が前年度又は過去3年平均と比較して2%以上増加。 10%以上・・・10ポイント 8%以上・・・8ポイント 6%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・事業実施地区における10a当たりの単収が、農林水産省大臣官房統計部（以下「統計部」という。）が調査した作物統計における過去5年の平均単収に対して1%以上高い。 5%以上・・・5ポイント 4%以上・・・4ポイント 3%以上・・・3ポイント

		2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
57	・収穫面積又は一戸当たり収穫面積が1%以上増加。 5%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4%以上・・・・・・・・・・8ポイント 3%以上・・・・・・・・・・6ポイント 2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・収穫面積又は一戸当たり収穫面積が、過去5年の平均収穫面積と比較して1%以上高い。 3%以上・・・・・・・・・・5ポイント 2.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
58	・事業実施地区の畑作農家のうち、甘味資源作物を作付けしている農家の割合が1%以上増加。 5%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4%以上・・・・・・・・・・8ポイント 3%以上・・・・・・・・・・6ポイント 2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区において、甘味資源作物を作付けしている農家の割合が過去5年の平均と比較して1%以上高い。 3%以上・・・・・・・・・・5ポイント 2.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
59	・従来品種と異なる高糖性、病害抵抗性又は風害・干ばつ耐性を有する品種の作付面積を5ポイント以上増加。 ※てん菜については、平成12年以降に優良品種認定を、さとうきびについては、平成12年以降に命名登録又は県の奨励品種に採用された品種を対象とする。 25ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 又は ・高糖性、病害抵抗性又は風害・干ばつ耐性を有する品種を作付けすることにより、現行のてん菜作付面積のうち当該品種が作付けされていない面積における当該品種の作付面積割合を30ポイント以上増加。 50ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 45ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 40ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 35ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における高糖性、病害抵抗性又は風害・干ばつ耐性を有する品種の作付面積の割合10%以上。 40%以上・・・・・・・・・・5ポイント 35%以上・・・・・・・・・・4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・1ポイント
60	・糖度が1%以上上昇。 3%以上・・・・・・・・・・10ポイント 2.5%以上・・・・・・・・・・8ポイント 2%以上・・・・・・・・・・6ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における平均糖度が、地区平均と比較して1%以上高い。 3%以上・・・・・・・・・・5ポイント 2.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
61	【てん菜】 ・10a当たり労働時間を3%以上削減。 10%以上・・・・・・・・・・10ポイント 9%以上・・・・・・・・・・8ポイント 7%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 【さとうきび】 ・10a当たり労働時間を6%以上削減。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 14.5%以上・・・・・・・・・・8ポイント 14%以上・・・・・・・・・・6ポイント 10%以上・・・・・・・・・・4ポイント	・事業実施地区における10a当たり労働時間が、統計部が調査した生産費統計における10a当たり労働時間に対して1%以上短い。 3%以上・・・・・・・・・・5ポイント 2.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント

		6%以上・・・・・・・・・・2ポイント	
	62	・製糖原料における夾雑物の混入率の削減割合を20%以上増加。 40%以上・・・・・・・・・・10ポイント 35%以上・・・・・・・・・・8ポイント 30%以上・・・・・・・・・・6ポイント 25%以上・・・・・・・・・・4ポイント 20%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における製糖原料における夾雑物の混入率の削減割合が地区平均と比較して1%以上。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	63	・トン当たり製造コストを2%以上削減。 10%以上・・・・・・・・・・10ポイント 8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 6%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区におけるトン当たり製造コストが過去5年の平均と比較して1%以上低い。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	64	・販売金額又は販売数量を3%以上増加。 11%以上・・・・・・・・・・10ポイント 9%以上・・・・・・・・・・8ポイント 7%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・過去5年間における販売金額又は販売数量の増加割合が1%以上増加。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
畑作物・地域特産物 (茶)	65	・産物販売単価指数を直近値の5%以上増加。 (なお、産物販売単価指数とは、事業実施地区等における当該産物の平均販売単価を、直近の荒茶の全茶種全国平均価格で除し、100を乗じた数とする。) 22%以上・・・・・・・・・・10ポイント 18%以上・・・・・・・・・・8ポイント 14%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・産物販売単価指数の過去3年間の増加率が3.0%以上。 38.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 29.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 20.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 11.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	66	・おおい茶生産面積指数を直近値より7以上増加。 (なお、おおい茶生産面積指数とは、玉露、てん茶、かぶせ茶等のおおい茶の生産面積を茶栽培面積全体で除し、100を乗じた数とする。) 33以上・・・・・・・・・・10ポイント 27以上・・・・・・・・・・8ポイント 20以上・・・・・・・・・・6ポイント 14以上・・・・・・・・・・4ポイント 7以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近のおおい茶生産面積指数が7ポイント以上。 40ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 32ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 24ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	67	・産物販売単価指数を直近値の5%以上増加。 (なお、産物販売単価指数とは、事業実施地区等における当該産物の平均販売単価を、直近の荒茶の全茶種全国平均価格で除し、100を乗じた数とする。) 22%以上・・・・・・・・・・10ポイント 18%以上・・・・・・・・・・8ポイント 14%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※ただし、防霜施設又は病害虫防除施設を整備する場合は、以下の成果目標を選択することも可とする。 ・産物販売単価指数を事業実施前における過去5年間の品質被害発生年度の産物販売単価指数に対して5%以上増加。 (なお、品質被害とは、災害等により産物販売単価指数が3%以上低下した被害とする。) 22%以上・・・・・・・・・・10ポイント 18%以上・・・・・・・・・・8ポイント	・産物販売単価指数の過去3年間の増加率が3%以上。 12%以上・・・・・・・・・・5ポイント 10%以上・・・・・・・・・・4ポイント 8%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※ただし、防霜施設又は病害虫防除施設を整備する場合は、以下の成果目標を選択することも可とする。 ・事業実施地区等における過去5年間の品質被害発生年度以外の産物販売単価指数の増加率が3%以上。 12%以上・・・・・・・・・・5ポイント 10%以上・・・・・・・・・・4ポイント 8%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント

	14%以上・・・6ポイント 9%以上・・・4ポイント 5%以上・・・2ポイント	
68	・取引単価補正指数を直近値の1%以上増加。 (なお、取引単価補正指数とは、事業実施地区等における取引単価を、直近の荒茶の全茶種全国平均価格で除し、100を乗じた数とする。) 12%以上・・・10ポイント 9%以上・・・8ポイント 7%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 1%以上・・・2ポイント	・取引単価補正指数の過去3年間の増加率が1%以上。 6%以上・・・5ポイント 5%以上・・・4ポイント 3%以上・・・3ポイント 2%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
69	・下級茶歩留指数を直近値の10%以上低減。 (なお、下級茶歩留指数とは、事業実施地区等における荒茶平均販売単価未満の荒茶(下級茶という。)の生産量を、当該年の荒茶生産量全体で除し、100を乗じた数とする。) 44%以上・・・10ポイント 36%以上・・・8ポイント 27%以上・・・6ポイント 18%以上・・・4ポイント 10%以上・・・2ポイント	・直近の下級茶歩留指数が47以下。 39以下・・・5ポイント 41以下・・・4ポイント 43以下・・・3ポイント 45以下・・・2ポイント 47以下・・・1ポイント
70	・10a当たりの単収を直近値の8%以上増加。 (なお、現状の品種に比べて単収の増加がほぼ確実に見込まれる品種への改植を、事業実施地区等において行う場合にあっては、本成果目標を使用しないものとする。) 24%以上・・・10ポイント 20%以上・・・8ポイント 16%以上・・・6ポイント 12%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント ※ただし、防霜施設又は病害虫防除施設を整備する場合は、以下の成果目標を選択することも可とする。 ・10a当たりの単収を事業実施前における過去5年間の単収被害発生年度の10a当たりの単収に対して8%以上増加。 (なお、単収被害とは、災害等により10a当たりの単収が5%以上低下した被害とする。) 24%以上・・・10ポイント 20%以上・・・8ポイント 16%以上・・・6ポイント 12%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント	・10a当たりの単収の過去3年間の増加率が4%以上。 12%以上・・・5ポイント 10%以上・・・4ポイント 8%以上・・・3ポイント 6%以上・・・2ポイント 4%以上・・・1ポイント ※ただし、防霜施設又は病害虫防除施設を整備する場合は、以下の現況値を選択することも可とする。 ・事業実施地区等における過去5年間の単収被害発生年度以外の10a当たりの単収の増加率が4%以上。 12%以上・・・5ポイント 10%以上・・・4ポイント 8%以上・・・3ポイント 6%以上・・・2ポイント 4%以上・・・1ポイント
71	・契約取引量指数を直近値より7以上増加。 (なお、契約取引量指数とは、契約取引量を全出荷量で除した後に100を乗じた数とする。) 35以上・・・10ポイント 28以上・・・8ポイント 21以上・・・6ポイント 14以上・・・4ポイント 7以上・・・2ポイント	・契約取引量指数の直近値が7以上。 42以上・・・5ポイント 33以上・・・4ポイント 25以上・・・3ポイント 16以上・・・2ポイント 7以上・・・1ポイント
72	・荒茶原料流入量指数を直近値より10以上増加。 (ここで、荒茶原料流入量指数とは、事業実施地区等以外の国内の荒茶製造者から調達される原料荒茶の量を、原料荒茶の全体量で除して、100を乗じた数とする。) 40以上・・・10ポイント 33以上・・・8ポイント 25以上・・・6ポイント 18以上・・・4ポイント 10以上・・・2ポイント	・荒茶原料流入量指数の直近値が5以上。 25以上・・・5ポイント 20以上・・・4ポイント 15以上・・・3ポイント 10以上・・・2ポイント 5以上・・・1ポイント

73	・取引量対全国指数を直近値の3%以上増加。 (なお、取引量対全国指数とは、取引量を全国荒茶生産量で除して、100を乗じた数とする。) 13%以上・・・10ポイント 11%以上・・・8ポイント 8%以上・・・6ポイント 6%以上・・・4ポイント 3%以上・・・2ポイント 又は ・時間当たり取引量を直近値の3%以上増加 (なお、時間当たり取引量とは、事業実施地区等における取引全体量を、取引回転時間当たりに換算した値とする。) 13%以上・・・10ポイント 11%以上・・・8ポイント 8%以上・・・6ポイント 6%以上・・・4ポイント 3%以上・・・2ポイント	・取引量対全国指数の過去3年間の増加率が2%以上。 7%以上・・・5ポイント 6%以上・・・4ポイント 5%以上・・・3ポイント 3%以上・・・2ポイント 2%以上・・・1ポイント 又は ・時間当たり取引量の過去3年間の増加率が2%以上。 7%以上・・・5ポイント 6%以上・・・4ポイント 5%以上・・・3ポイント 3%以上・・・2ポイント 2%以上・・・1ポイント
74	・10a当たり生産コスト(費用合計)を直近値の6%以上低減。 18%以上・・・10ポイント 15%以上・・・8ポイント 12%以上・・・6ポイント 9%以上・・・4ポイント 6%以上・・・2ポイント 又は ・10a当たり労働時間を直近値の14%以上低減。 34%以上・・・10ポイント 29%以上・・・8ポイント 24%以上・・・6ポイント 19%以上・・・4ポイント 14%以上・・・2ポイント	・10a当たり生産コスト(費用合計)の過去3年間の低減率が3%以上。 9%以上・・・5ポイント 8%以上・・・4ポイント 6%以上・・・3ポイント 5%以上・・・2ポイント 3%以上・・・1ポイント 又は ・10a当たり労働時間の過去3年間の低減率が7%以上。 17%以上・・・5ポイント 15%以上・・・4ポイント 12%以上・・・3ポイント 10%以上・・・2ポイント 7%以上・・・1ポイント
75	・産物1kg当たり燃油量を直近値の2%以上低減。 (なお、燃油量とは、産物の加工等に要する使用量の合計とする。) 15%以上・・・10ポイント 12%以上・・・8ポイント 9%以上・・・6ポイント 5%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・産物1kg当たり燃油量の過去3年間の低減率が1%以上。 (なお、燃油量は、産物の加工等に要する使用量とする。) 8%以上・・・5ポイント 6%以上・・・4ポイント 4%以上・・・3ポイント 2%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
76	・産物1kg当たり労働時間を直近値の2%以上低減。 (なお、労働時間は、産物の加工等に要する労働時間とする。) 10%以上・・・10ポイント 8%以上・・・8ポイント 6%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・産物1kg当たり労働時間の過去3年間の低減率が1%以上。 (なお、労働時間は、産物の加工等に要する労働時間とする。) 5%以上・・・5ポイント 4%以上・・・4ポイント 3%以上・・・3ポイント 2%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
77	・施設利用料徴収指数を直近値の2%以上低減。 (ここで、施設利用料徴収指数とは、施設利用料金を荒茶販売金額で除し、100を乗じた数とする。) 23%以上・・・10ポイント 18%以上・・・8ポイント 13%以上・・・6ポイント 7%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント	・施設利用料徴収指数の過去3年間の低減率が1%以上。 11%以上・・・5ポイント 9%以上・・・4ポイント 6%以上・・・3ポイント 4%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
78	・主要品種指数を直近値の2%以上低減。 (なお、主要品種指数とは、事業実施地区等における茶品種「やぶきた」の量を、当該年の全体量で除し、100を乗じた数とする。) 34%以上・・・10ポイント	・直近の主要品種指数が75以下。 50以下・・・5ポイント 56以下・・・4ポイント 63以下・・・3ポイント

		26%以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 18%以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 10%以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 2%以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント	69以下・・・・・・・・・・・・・2ポイント 75以下・・・・・・・・・・・・・1ポイント
	79	・無化学農薬栽培指数を直近値より2以上増加。 （なお、無化学農薬栽培指数とは、化学合成農薬を使用しない栽培（特定国への輸出に対応可能なごく一部の化学合成農薬のみを使用する場合を含む。）を行う面積を茶栽培面積全体で除し、100を乗じた数とする。） 22以上・・・・・・・・・・・・・10ポイント 17以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 12以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 7以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 2以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント	・直近の無化学農薬栽培指数が2以上。 24以上・・・・・・・・・・・・・5ポイント 19以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 13以上・・・・・・・・・・・・・3ポイント 8以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント 2以上・・・・・・・・・・・・・1ポイント
	80	・仕向先多様化指数を直近値より25以上増加。 （なお、仕向先多様化指数とは、既存のリーフ茶製品以外の茶製品（ティーバック、抹茶、ドリンク等）への仕向量を全仕向量で除し、100を乗じた数とする。） 45以上・・・・・・・・・・・・・10ポイント 40以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 35以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 30以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 25以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント ※ただし、農産物処理加工施設のうち仕上茶加工機を整備する場合は、一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別81の成果目標を選択することはできない。	・直近の仕向先多様化指数が13以上。 35以上・・・・・・・・・・・・・5ポイント 30以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 24以上・・・・・・・・・・・・・3ポイント 19以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント 13以上・・・・・・・・・・・・・1ポイント
	81	・主要茶種指数を直近値の6%以上低減。 （なお、主要茶種指数とは、事業実施地区等における茶種「せん茶」の量を、当該年の全体量で除し、100を乗じた数とする。） 24%以上・・・・・・・・・・・・・10ポイント 20%以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 15%以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 11%以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 6%以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント ※ただし、農産物処理加工施設のうち仕上茶加工機を整備する場合は、一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別80の成果目標を選択することはできない。	・直近の主要茶種指数が66以下。 50以下・・・・・・・・・・・・・5ポイント 54以下・・・・・・・・・・・・・4ポイント 58以下・・・・・・・・・・・・・3ポイント 62以下・・・・・・・・・・・・・2ポイント 66以下・・・・・・・・・・・・・1ポイント
	82	・事業実施地区等において、防霜対策未実施面積における防霜対策の実施率が20%以上増加。 100%・・・・・・・・・・・・・10ポイント 80%以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 60%以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 40%以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 20%以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区等において、防霜対策の未実施率が19%未満 1%未満・・・・・・・・・・・・・5ポイント 5%未満・・・・・・・・・・・・・4ポイント 9%未満・・・・・・・・・・・・・3ポイント 14%未満・・・・・・・・・・・・・2ポイント 19%未満・・・・・・・・・・・・・1ポイント
	83	・事業実施地区等において、茶栽培面積のうち早生品種と晩生品種の合計の作付割合が直近より2ポイント以上増加。 10ポイント以上・・・・・・・・・・・・・10ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区等において、茶栽培面積のうち早生品種と晩生品種の合計の作付割合が直近の県平均と比較して、1ポイント以上。 5ポイント以上・・・・・・・・・・・・・5ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・・・・3ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・・・・2ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・・・・1ポイント
畑作物・地域特産物 (いぐさ・量表)	84	・高品質品種の作付割合を2ポイント以上増加。 12ポイント以上・・・・・・・・・・・・・10ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・・・・8ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・・・・6ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント	・高品質品種の作付割合が県平均と比較して1ポイント以上高い。 5ポイント以上・・・・・・・・・・・・・5ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・・・・3ポイント

		2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	85	・銘柄品量表の出荷割合を2ポイント以上増加。 11ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・銘柄品量表の出荷割合が県平均と比較して0.8ポイント以上高い。 4.0ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 3.2ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.4ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 1.6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 0.8ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	86	・量表一枚当たり（ただし、いぐさの生産過程に係る育苗から乾燥までの施設にあつては10a当たり）労働時間を6%以上削減。 17%以上・・・・・・・・・・10ポイント 14%以上・・・・・・・・・・8ポイント 11%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・量表一枚当たり（ただし、いぐさの生産過程に係る育苗から乾燥までの施設にあつては10a当たり）労働時間が県平均と比較して1%以上短い。 6%以上・・・・・・・・・・5ポイント 5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	87	・一戸当たり作付面積を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・一戸当たり作付面積が県平均と比較して1%以上大きい。 6%以上・・・・・・・・・・5ポイント 5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	88	・QRコード等による生産履歴付き量表の出荷割合を6ポイント以上増加。 28ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 22ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 17ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 11ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・QRコード等による生産履歴付き量表の出荷割合が県平均と比較して2ポイント以上高い。 11ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
	89	・量表JASの格付割合を5ポイント以上増加。 26ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 21ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・量表JASの格付割合が県平均と比較して2ポイント以上高い。 10ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
畑作物・地域特産物 (その他)	90	・契約取引による生産数量又は収穫面積の割合を10ポイント以上増加。 ※カイコについては、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業において、蚕糸・絹業提携システムに移行する者の生産数量も含む。 35ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 28ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 22ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区における生産数量又は作付面積のうち契約栽培の割合が30.0%以上。 ※カイコについては、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業において、蚕糸・絹業提携システムに移行している者の生産数量も含む。 60.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 52.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 45.0%以上・・・・・・・・・・3ポイント 37.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 30.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	91	・生産物の全量を契約販売する作物について、販売数量又は収穫面積を10%以上増加。 50%以上・・・・・・・・・・10ポイント 40%以上・・・・・・・・・・8ポイント 30%以上・・・・・・・・・・6ポイント 20%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別92の成果目標を選択することはできない。	・生産物の全量を契約販売する作物について、過去3年間で販売数量又は作付面積が10%以上増加。 50%以上・・・・・・・・・・5ポイント 40%以上・・・・・・・・・・4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・1ポイント

92	・生産物の全量を契約販売する作物について、当該作物の作付に新たに取り組む農家戸数が10%以上増加 50%以上・・・・・・・・・・10ポイント 40%以上・・・・・・・・・・8ポイント 30%以上・・・・・・・・・・6ポイント 20%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別91の成果目標を選択することはできない。	・生産物の全量を契約販売する作物について、過去3年間で当該作物の作付に取り組む農家戸数が10%以上増加。 50%以上・・・・・・・・・・5ポイント 40%以上・・・・・・・・・・4ポイント 30%以上・・・・・・・・・・3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・2ポイント 10%以上・・・・・・・・・・1ポイント
93	・10a当たりの生産コスト（物財費）を5%以上削減。 17%以上・・・・・・・・・・10ポイント 14%以上・・・・・・・・・・8ポイント 11%以上・・・・・・・・・・6ポイント 8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・10a当たりの生産コスト（物財費）が、統計部、地方自治体又は日本たばこ産業株式会社等の調査における平均と比較して100%以下。 86%以下・・・・・・・・・・5ポイント 90%以下・・・・・・・・・・4ポイント 93%以下・・・・・・・・・・3ポイント 97%以下・・・・・・・・・・2ポイント 100%以下・・・・・・・・・・1ポイント 又は、 ・そばについては、全国そば生産者表彰事業における優良事例の平均（14,000円/10a）と比較して107%以下。 93%以下・・・・・・・・・・5ポイント 97%以下・・・・・・・・・・4ポイント 100%以下・・・・・・・・・・3ポイント 103%以下・・・・・・・・・・2ポイント 107%以下・・・・・・・・・・1ポイント
94	・10a当たり労働時間を10%以上削減。 30%以上・・・・・・・・・・10ポイント 25%以上・・・・・・・・・・8ポイント 20%以上・・・・・・・・・・6ポイント 15%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・事業実施地区等における現在の10a当たり労働時間が、統計部、地方自治体又は日本たばこ産業株式会社等の調査における平均と比較して100%以下。 72%以下・・・・・・・・・・5ポイント 79%以下・・・・・・・・・・4ポイント 86%以下・・・・・・・・・・3ポイント 93%以下・・・・・・・・・・2ポイント 100%以下・・・・・・・・・・1ポイント 又は、 ・そばについては、全国そば生産者表彰事業における優良事例の平均（5.0h/10a）と比較して114%以下。 86%以下・・・・・・・・・・5ポイント 93%以下・・・・・・・・・・4ポイント 100%以下・・・・・・・・・・3ポイント 107%以下・・・・・・・・・・2ポイント 114%以下・・・・・・・・・・1ポイント
95	・既存の品種からより品質や収量の安定した新品種等へ転換する作付面積の割合が15ポイント以上増加。 ※なたねについては、低エルシン酸品種をいう。 ※そばについては、H11以降に育成された品種をいう。 ※こんにゃくいもについては、H14以降に育成された品種をいう。 ※カイコについては、特徴のある蚕品種（特徴のある蚕品種とは、繭糸が細い、節が少ない、染色性に優れている等の蚕品種をいう（「ぐんま200」、「新小石丸」、「世紀二一」等）をいう。 25ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 22.5ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 17.5ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・既存の品種より品質や収量の安定した新品種等の作付面積の割合が16%以上。 ※なたねについては、低エルシン酸品種をいう。 ※そばについては、H11以降に育成された品種をいう ※こんにゃくいもについては、H14以降に育成された品種をいう。 ※カイコについては、特徴のある蚕品種（特徴のある蚕品種とは、繭糸が細い、節が少ない、染色性に優れている等の蚕品種をいう（「ぐんま200」、「新小石丸」、「世紀二一」等）をいう。 20%以上・・・・・・・・・・5ポイント 19%以上・・・・・・・・・・4ポイント 18%以上・・・・・・・・・・3ポイント 17%以上・・・・・・・・・・2ポイント 16%以上・・・・・・・・・・1ポイント
96	・搾油歩留まりが現状に対して5ポイント以上向上。 10ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 8ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント	・現状の搾油歩留まりが25%以上。 37%以上・・・・・・・・・・5ポイント 34%以上・・・・・・・・・・4ポイント

	7ポイント以上・・・6ポイント 6ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント	31%以上・・・3ポイント 28%以上・・・2ポイント 25%以上・・・1ポイント
97	・葉たばこの上位等級（A品）比率が、現状に対して5ポイント以上高い。 13ポイント以上・・・10ポイント 11ポイント以上・・・8ポイント 9ポイント以上・・・6ポイント 7ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント	・事業実施地区等における現在の葉たばこの上位等級（A品）比率が、全国平均に対して5%以上高い。 13%以上・・・5ポイント 11%以上・・・4ポイント 9%以上・・・3ポイント 7%以上・・・2ポイント 5%以上・・・1ポイント
98	・単収を8%以上増加。 18%以上・・・10ポイント 15.5%以上・・・8ポイント 13%以上・・・6ポイント 10.5%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント	・現状の事業実施地区における単収が作物統計等における同一年度又は平均の単収に対して2%以上高い。 8%以上・・・5ポイント 6.5%以上・・・4ポイント 5%以上・・・3ポイント 3.5%以上・・・2ポイント 2%以上・・・1ポイント 又は、 ・事業実施地区における排水対策実施面積の割合が65%以上。 85%以上・・・5ポイント 80%以上・・・4ポイント 75%以上・・・3ポイント 70%以上・・・2ポイント 65%以上・・・1ポイント
99	・既存の品種からより品質や収量の安定した新品種等へ転換する作付面積の割合が15ポイント以上増加。 ※なたねについては、低エルシン酸品種をいう。 ※そばについては、H11以降に育成された品種をいう。 25ポイント以上・・・10ポイント 22.5ポイント以上・・・8ポイント 20ポイント以上・・・6ポイント 17.5ポイント以上・・・4ポイント 15ポイント以上・・・2ポイント	・既存の品種より品質や収量の安定した新品種等の作付面積の割合が16%以上。 ※なたねについては、低エルシン酸品種をいう。 ※そばについては、H11以降に育成された品種をいう。 40%以上・・・5ポイント 34%以上・・・4ポイント 28%以上・・・3ポイント 22%以上・・・2ポイント 16%以上・・・1ポイント
100	・地場加工、農村レストラン等によって向上する販売価格（原料価格に換算）が50%以上増加。 150%以上・・・10ポイント 125%以上・・・8ポイント 100%以上・・・6ポイント 75%以上・・・4ポイント 50%以上・・・2ポイント	・販売価格が全国農業同組合連合会による販売価格等の平均的な価格と比較して88%以上。 ※そばについては、前年産の作付品種の販売価格が日経平均価格と比較して88%以上。 112%以上・・・5ポイント 106%以上・・・4ポイント 100%以上・・・3ポイント 94%以上・・・2ポイント 88%以上・・・1ポイント
101	・地場加工、農村レストラン等へ仕向けられる生産数量又は収穫面積が10ポイント以上増加。 35ポイント以上・・・10ポイント 28ポイント以上・・・8ポイント 22ポイント以上・・・6ポイント 16ポイント以上・・・4ポイント 10ポイント以上・・・2ポイント	・地場加工、農村レストラン等へ仕向けられる生産数量又は収穫面積の割合が30%以上。 50%以上・・・5ポイント 45%以上・・・4ポイント 40%以上・・・3ポイント 35%以上・・・2ポイント 30%以上・・・1ポイント
果樹	102 ・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・10ポイント 12ポイント以上・・・8ポイント 9ポイント以上・・・6ポイント 6ポイント以上・・・4ポイント 3ポイント以上・・・2ポイント	・過去5年間の当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合が3.0ポイント以上増加。 16.0ポイント以上・・・5ポイント 12.8ポイント以上・・・4ポイント 9.5ポイント以上・・・3ポイント 6.3ポイント以上・・・2ポイント 3.0ポイント以上・・・1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と直近年の4年

		前及び5年前の平均値との比較とする。
103	・当該品目の全出荷量又は全作付面積に占めるブランド品（地域団体商標等、他との差別化により有利販売を図ったものであり、明確な基準、根拠があるもの）の割合を1ポイント以上増加。 9ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 7ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量又は全作付面積に占めるブランド品（地域団体商標等、他との差別化により有利販売を図ったものであり、明確な基準、根拠があるもの）の割合が1.0%以上。 38.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 28.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 19.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 10.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
104	・当該品目の全出荷量又は全栽培面積のうち、都道府県の果樹農業振興計画に定める若しくは定める予定になっている振興品目の品種、都道府県の奨励品種又は果樹産地構造改革計画における振興品目・品種の出荷量又は栽培面積の割合が3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の全出荷量又は全栽培面積のうち、都道府県の果樹農業振興計画に定める若しくは定める予定になっている振興品種、都道府県の奨励品種又は果樹産地構造改革計画における振興品種の出荷量又は栽培面積の割合が3.0%以上。 24.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 18.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 13.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 8.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
105	・当該品目の10a当たり収量を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別106のうち「単位収量当たりの費用合計」、類別107のうち「単位収量当たりの労働時間」及び類別114のうち「単位面積当たりの販売額」の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の10a当たり収量が「果樹生産出荷統計」又は「特産果樹生産動態等調査」における全国又は当該都道府県の平均収量に対して3%以上高い。 15%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
106	・当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））を5%以上縮減。 20%以上・・・・・・・・・・10ポイント 16%以上・・・・・・・・・・8ポイント 13%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「生産コスト」を選択した場合は、類別107の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの費用合計」を選択した場合は、類別105の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「流通コスト」を選択した場合は、類別152の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））が全国又は当該都道府県の平均値に対して3.0%以上低い。 22.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 17.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 12.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 7.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
107	・当該品目の単位面積又は単位収量当たり労働時間を5%以上縮減。 33%以上・・・・・・・・・・10ポイント 26%以上・・・・・・・・・・8ポイント 19%以上・・・・・・・・・・6ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別106のうち「生産コスト」の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの労働時間」を選択した場合は、類別105の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の単位面積又は単位収量当たり労働時間が全国又は当該都道府県の平均値に対して3%以上短い。 20%以上・・・・・・・・・・5ポイント 15%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント

108	・当該品目の全出荷量又は全栽培面積に占める契約取引の割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別115の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の全出荷量又は全栽培面積に占める契約取引の割合が3.0%以上。 34.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 26.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 18.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 10.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
109	・当該品目の全出荷量又は全栽培面積に占める加工向けの割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量又は全栽培面積に占める加工向けの割合が3%以上。 15%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
110	・当該品目の全出荷量又は全出荷額に占める海外向けの割合を1ポイント以上増加。 5ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※農畜産物輸出に向けた体制整備の取組にあつては、本成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の全出荷量又は全出荷額に占める輸出向けの割合が1%以上。 5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・3ポイント 2%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
111	・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合が、事業実施前5年の被害（病虫害を除く。）発生年度の平均上位規格品割合に対して5ポイント以上高い。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 13ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※「被害発生年度」とは、当該産地において、市町村が被害額を計上した年度をいう。	・過去5年間の当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合が3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と直近年の4年前及び5年前の平均値との比較とする。
112	・当該品目の10a当たりの収量が、事業実施前5年の被害（病虫害を除く。）発生年度の平均収量に対して5%以上高い。 32%以上・・・・・・・・・・10ポイント 25%以上・・・・・・・・・・8ポイント 19%以上・・・・・・・・・・6ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の10a当たり収量が「果樹生産出荷統計」又は「特産果樹生産動態等調査」における全国又は当該都道府県の平均収量に対して3.0%以上高い。 40.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 30.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 21.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 12.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別113の現況値を選択することはできない。
113	・当該品目の目標年度までの病虫害による平均被害率を5ポイント以上低減。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 13ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別105の成果目標を選択することはできない。 ※防風施設のうち、ネット式鋼管施設を整備する場合は、本成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の10a当たり収量が「果樹生産出荷統計」又は「特産果樹生産動態等調査」における全国又は当該都道府県の平均収量に対して3%以上高い。 15%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別112の現況値を選択することはできない。
114	・当該品目の単位面積又は単位収量当たりの販売額を3%以上増	・過去5年間の当該品目又は果樹の単位面積又は単位収量当た

		加。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位面積当たりの販売額」を選択した場合は、類別105の成果目標を選択することはできない。	りの販売額が3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と直近年の4年前及び5年前の平均値との比較とする。
	115	・当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が10%以上。 50%・・・・・・・・・・15ポイント 40%・・・・・・・・・・12ポイント 30%・・・・・・・・・・9ポイント 20%・・・・・・・・・・6ポイント 10%・・・・・・・・・・3ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別108の成果目標を選択することはできない。	※当該類別については、新規導入品目に限る
野菜	116	・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の販売価格が、事業実施地区の主要取引市場における卸売価格の平均値に対して3%以上高い。 27%以上・・・・・・・・・・5ポイント 21%以上・・・・・・・・・・4ポイント 15%以上・・・・・・・・・・3ポイント 9%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	117	・当該品目の全出荷量に占めるブランド野菜（地域団体商標、伝統野菜等、他との差別化により有利販売を図ったものであり、明確な基準、根拠があるもの）の割合を5ポイント以上増加。 25ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量に占めるブランド野菜（地域団体商標、伝統野菜等、他との差別化により有利販売を図ったものであり、明確な基準、根拠があるもの）の割合が5.0%以上。 30.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 23.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 17.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 11.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	118	・当該品目の10a当たり収量を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別119のうち「単位収量当たりの費用合計」、類別120のうち「単位収量当たりの労働時間」、類別126及び類別127のうち「単位面積当たりの販売額」の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の10a当たり収量が、「野菜生産出荷統計」又は「地域特産野菜の生産状況」における全国又は当該都道府県の平均収量に対して3.0%以上高い。 62.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 47.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 32.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 17.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
	119	・当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））を5%以上縮減。 21%以上・・・・・・・・・・10ポイント 17%以上・・・・・・・・・・8ポイント 13%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「生産コスト」を選択した場合は、類別120の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの費用合計」を選択した場合は、類別118の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「流通コスト」を選択した場合は、類別152の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））が全国又は当該都道府県の平均値に対して3.0%以上低い。 60.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 45.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 31.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 17.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント

120	・当該品目の単位面積当たり又は単位収量当たりの労働時間を5%以上増減。 41%以上・・・・・・・・・・10ポイント 31%以上・・・・・・・・・・8ポイント 21%以上・・・・・・・・・・6ポイント 11%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別119のうち「生産コスト」の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの労働時間」を選択した場合は、類別118の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の単位面積当たり又は単位収量当たり労働時間が、全国又は当該都道府県の平均値に対して3.0%以上短い。 24.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 18.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 13.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 8.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
121	・当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合を5ポイント以上増加。 33ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 26ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 19ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別128の成果目標を選択することはできない	・現状の当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が5.0%以上。 48.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 37.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 26.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 15.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
122	・当該品目の全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を5ポイント以上増加。 25ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合が5%以上。 49%以上・・・・・・・・・・5ポイント 38%以上・・・・・・・・・・4ポイント 27%以上・・・・・・・・・・3ポイント 16%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
123	・当該品目の出荷量又は出荷額に占める海外向けの割合を1ポイント以上増加。 5ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※農畜産物輸出に向けた体制整備の取組にあつては、本成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の全出荷量又は全作付面積に占める輸出向け出荷量又は作付面積の割合が5%以上。 25%以上・・・・・・・・・・5ポイント 20%以上・・・・・・・・・・4ポイント 15%以上・・・・・・・・・・3ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
124	・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質、内部品質）の割合が、事業実施前5年の被害（病虫害を除く。）発生年度の平均上位規格品割合に対して5ポイント以上高い。 20ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 13ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の販売価格が、事業実施地区の主要取引市場における卸売価格の平均値に対して3%以上高い。 20%以上・・・・・・・・・・5ポイント 15%以上・・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
125	・当該品目の10a当たりの収量が、事業実施前5年の被害発生年度の平均単収に対して5%以上高い。 32%以上・・・・・・・・・・10ポイント 25%以上・・・・・・・・・・8ポイント 19%以上・・・・・・・・・・6ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の10a当たり収量が、「野菜生産出荷統計」又は「地域特産野菜の生産状況」における全国又は当該都道府県の平均収量に対して3.0%以上高い。 16.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別126の現況値を選択することはできない。
126	・当該品目の目標年度までの病虫害による平均被害率を5ポイント以上低減。	・現状の当該品目の10a当たり収量が、「野菜生産出荷統計」又は「地域特産野菜の生産状況」における全国又は当該都道府

	25ポイント以上・・・・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別118の成果目標を選択することはできない。 ※防風施設のうち、ネット式鋼管施設を整備する場合は、本成果目標を選択することはできない。	県の平均収量に対して3%以上高い。 15%以上・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別125の現況値を選択することはできない。
	127 ・当該品目の単位面積又は単位収量当たりの販売額を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位面積当たりの販売額」を選択した場合は、類別118の成果目標を選択することはできない。	・過去5年間の当該品目又は野菜の単位面積又は単位収量当たりの販売額が3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と直近年の4年前及び5年前の平均値との比較とする。
	128 ・当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が10%以上。 50%・・・・・・・・・15ポイント 40%・・・・・・・・・12ポイント 30%・・・・・・・・・9ポイント 20%・・・・・・・・・6ポイント 10%・・・・・・・・・3ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別121の成果目標を選択することはできない。	※当該類別については、新規導入品目に限る。
花き	129 ・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質）の割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の販売価格が、事業実施地区の主要取引市場における卸売価格の平均値に対して3%以上高い。 20%以上・・・・・・・・・5ポイント 15%以上・・・・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・1ポイント
	130 ・当該品目の全出荷量に占める産地オリジナル品種（次に掲げる品種であって都道府県が認めたものをいう。）の出荷割合を3ポイント以上増加。 ① 都道府県が育成して当該都道府県内の特定の生産者に限定して供給している品種 ② 種苗会社又は生産者育種家が育成して当該都道府県内の特定の生産者に限定して供給している品種（新たに育成された品種であって、品種登録の出願公表日から5年以内のものに限る。） ③ 事業実施主体若しくはその構成員自らが育成して当該都道府県内の特定の生産者に限定して供給している品種 ただし、リレー出荷している場合にあっては、当該産地と他方の産地の生産者に限定して供給している品種を含む。 15ポイント以上・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量に占める産地オリジナル品種の割合が10%以上。 38%以上・・・・・・・・・5ポイント 31%以上・・・・・・・・・4ポイント 24%以上・・・・・・・・・3ポイント 17%以上・・・・・・・・・2ポイント 10%以上・・・・・・・・・1ポイント
	131 ・当該品目の10a当たり収量を3%以上増加。 15%以上・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の10a当たり収量が、当該都道府県の経営指標の目標値に対して80%以上。 100%以上・・・・・・・・・5ポイント 95%以上・・・・・・・・・4ポイント 90%以上・・・・・・・・・3ポイント 85%以上・・・・・・・・・2ポイント

	※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別132のうち「単位収量当たりの費用合計」、類別133のうち「単位収量当たりの労働時間」、類別139及び類別140のうち「単位面積当たりの販売額」の成果目標を選択することはできない。	80%以上・・・・・・・・・・1ポイント
132	・当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））を5%以上縮減。 20%以上・・・・・・・・・・10ポイント 16%以上・・・・・・・・・・8ポイント 13%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「生産コスト」を選択した場合は、類別133の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの費用合計」を選択した場合は、類別131の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の生産コスト（単位面積又は単位収量当たりの費用合計）又は流通コスト（単位面積又は単位収量当たりの集出荷・販売経費（卸売手数料を除く。））が、当該都道府県の経営指標の目標値に対して120%以下。 100%以下・・・・・・・・・・5ポイント 105%以下・・・・・・・・・・4ポイント 110%以下・・・・・・・・・・3ポイント 115%以下・・・・・・・・・・2ポイント 120%以下・・・・・・・・・・1ポイント
133	・当該品目の単位面積当たり又は単位収量当たり労働時間を5%以上縮減。 40%以上・・・・・・・・・・10ポイント 30%以上・・・・・・・・・・8ポイント 20%以上・・・・・・・・・・6ポイント 10%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別132のうち「生産コスト」の成果目標を選択することはできない。 ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位収量当たりの労働時間」を選択した場合は、類別131の成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の単位面積当たり又は単位収量当たり労働時間が、当該都道府県の経営指標の目標値に対して120%以下。 100%以下・・・・・・・・・・5ポイント 105%以下・・・・・・・・・・4ポイント 110%以下・・・・・・・・・・3ポイント 115%以下・・・・・・・・・・2ポイント 120%以下・・・・・・・・・・1ポイント
134	・当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合を3ポイント以上増加。 15ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別141の成果目標を選択することはできない	・現状の当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が3%以上。 15%以上・・・・・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
135	・当該品目の全出荷量に占める湿式低温流通の割合を5ポイント増加。 40ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 30ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 20ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の全出荷量に占める湿式低温流通の割合が、全国値に対して3ポイント以上高い。 15ポイント以上・・・・・・・・・・5ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 9ポイント以上・・・・・・・・・・3ポイント 6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・1ポイント
136	・当該品目の海外向けの販路拡大に係る出荷量又は出荷額の割合を1ポイント以上増加。 5ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 4ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 3ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 2ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 1ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント ※農畜産物輸出に向けた体制整備の取組にあつては、本成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の全出荷量又は全出荷額に占める輸出向け割合が5%以上。 25%以上・・・・・・・・・・5ポイント 20%以上・・・・・・・・・・4ポイント 15%以上・・・・・・・・・・3ポイント 10%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
137	・当該品目の秀品その他品質の上位規格品（大きさ、外観品質）の割合が、事業実施前5年の被害（病虫害を除く。）発生年度の平均上位規格品割合に対して5ポイント以上高い。	・現状の当該品目の販売価格が、事業実施地区の主要取引市場における卸売価格の平均値に対して3%以上高い。 20%以上・・・・・・・・・・5ポイント

		20ポイント以上・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・8ポイント 13ポイント以上・・・・・・6ポイント 9ポイント以上・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・2ポイント	15%以上・・・・・・4ポイント 10%以上・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・1ポイント
	138	・当該品目の10a当たり収量が、事業実施前5年の被害発生年度の平均単収に対して5%以上高い。 32%以上高い・・・・・・10ポイント 25%以上高い・・・・・・8ポイント 19%以上高い・・・・・・6ポイント 12%以上高い・・・・・・4ポイント 5%以上高い・・・・・・2ポイント	・現状の当該品目の10a当たり収量が、当該都道府県の経営指標の目標値に対して80%以上。 100%以上・・・・・・5ポイント 95%以上・・・・・・4ポイント 90%以上・・・・・・3ポイント 85%以上・・・・・・2ポイント 80%以上・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別139の現況値を選択することはできない。
	139	・当該品目の目標年度までの病害虫による平均被害率を5ポイント以上低減。 25ポイント以上・・・・・・10ポイント 20ポイント以上・・・・・・8ポイント 15ポイント以上・・・・・・6ポイント 10ポイント以上・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別131の成果目標を選択することはできない。 ※防風施設のうち、ネット式鋼管施設を整備する場合は、本成果目標を選択することはできない。	・現状の当該品目の10a当たり収量が、当該都道府県の経営指標の目標値に対して80%以上。 100%以上・・・・・・5ポイント 95%以上・・・・・・4ポイント 90%以上・・・・・・3ポイント 85%以上・・・・・・2ポイント 80%以上・・・・・・1ポイント ※一つの取組において、本現況値を選択した場合は、類別138の現況値を選択することはできない。
	140	・当該品目の単位面積又は単位収量当たりの販売額を3%以上増加。 15%以上・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・8ポイント 9%以上・・・・・・6ポイント 6%以上・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標のうち「単位面積当たりの販売額」を選択した場合は、類別131の成果目標を選択することはできない。	・過去5年間の当該品目又は花きの単位面積又は単位収量当たりの販売額が3%以上増加。 15%以上・・・・・・5ポイント 12%以上・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・3ポイント 6%以上・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・1ポイント ※「過去5年間」とは、直近2年間の平均値と直近年の4年前及び5年前の平均値との比較とする。
	141	・当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が10%以上。 50%・・・・・・15ポイント 40%・・・・・・12ポイント 30%・・・・・・9ポイント 20%・・・・・・6ポイント 10%・・・・・・3ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別134の成果目標を選択することはできない。	※当該類別については、新規導入品目に限る。
環境保全型農業	142	・事業の受益に係る販売農家の栽培面積のうちたい肥の施用面積の割合を5ポイント以上増加。 30ポイント以上・・・・・・10ポイント 25ポイント以上・・・・・・8ポイント 20ポイント以上・・・・・・6ポイント 15ポイント以上・・・・・・4ポイント 5ポイント以上・・・・・・2ポイント	・事業の受益に係る販売農家の栽培面積のうちたい肥の施用面積の割合が5%以上。 30%以上・・・・・・5ポイント 25%以上・・・・・・4ポイント 20%以上・・・・・・3ポイント 15%以上・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・1ポイント
	143	・事業の受益に係る販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者（持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律（平成11年7月28日法律第110号。以下「持続農業法」という。）に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を受けている農業者の合計）の割合を5ポイント以上増加。 50ポイント以上・・・・・・10ポイント	○環境保全型農業に取り組む農業者の増加を成果目標とする場合 ・事業の受益に係る販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者割合が5%以上。 40%以上・・・・・・5ポイント 30%以上・・・・・・4ポイント 20%以上・・・・・・3ポイント

		40ポイント以上・・・8ポイント 25ポイント以上・・・6ポイント 10ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント 又は ・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積（持続農業法に基づく認定、有機JAS認定又は特別栽培農産物その他の環境負荷を低減する方法により栽培される農産物の認証を受けている面積の合計）の割合を1ポイント以上増加。 40ポイント以上・・・10ポイント 30ポイント以上・・・8ポイント 15ポイント以上・・・6ポイント 10ポイント以上・・・4ポイント 1ポイント以上・・・2ポイント	10%以上・・・2ポイント 5%以上・・・1ポイント ○環境保全型農業に取り組む面積の増加を成果目標とする場合 ・事業の受益に係る販売農家の経営面積のうち環境保全型農業に取り組む面積の割合が、全国の平均である25%以上。 60%以上・・・5ポイント 50%以上・・・4ポイント 40%以上・・・3ポイント 30%以上・・・2ポイント 25%以上・・・1ポイント
	144	・販売金額又は販売数量を3%以上増加。 11%以上・・・10ポイント 9%以上・・・8ポイント 7%以上・・・6ポイント 5%以上・・・4ポイント 3%以上・・・2ポイント	・過去5年間における販売金額又は販売数量の増加割合が1%以上増加。 5%以上・・・5ポイント 4%以上・・・4ポイント 3%以上・・・3ポイント 2%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
	145	・受益地区内において事業対象とする地域有機資源（下水汚泥等有害成分を含むおそれの高い資源は除く。ただし、有害成分の除去に有効と認められる処理が行われている場合は、この限りではない。）を活用した肥料の生産量の割合を5ポイント以上増加。 70ポイント以上・・・10ポイント 55ポイント以上・・・8ポイント 40ポイント以上・・・6ポイント 25ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント	・受益地区内における普通肥料取扱数量に占める有機質肥料の取扱数量の割合が1%以上 10%以上・・・5ポイント 7%以上・・・4ポイント 5%以上・・・3ポイント 3%以上・・・2ポイント 1%以上・・・1ポイント
畜産周辺環境影響低減	146	・現状の農場排水1リットル当たりの硝酸性窒素等※を15%以上低減。（なお、その低減率に関わらず、事業実施後の農場排水1リットル当たりの硝酸性窒素等が100mg/l以下の場合は10ポイントとする。） 85%以上・・・10ポイント 65%以上・・・8ポイント 50%以上・・・6ポイント 35%以上・・・4ポイント 15%以上・・・2ポイント ※硝酸性窒素等とは、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物をいう。	・現状の農場排水1リットル当たりの硝酸性窒素等※の排出量が水質汚濁防止法に基づく暫定排水基準を満たしている。 ・・・5ポイント
	147	・臭気指数（悪臭防止法第2条第2項に定めるもの）を現状から11%以上低減 33%以上・・・10ポイント 28%以上・・・8ポイント 22%以上・・・6ポイント 17%以上・・・4ポイント 11%以上・・・2ポイント ・ただし、悪臭防止法に基づく規制地域であって、規制基準未達となる場合にあっては0ポイントとする。	・臭気測定を過去2年に渡り年間一回以上行っている。 ・・・5ポイント ・1年以内に臭気測定を行っている。 ・・・3ポイント
国産原材料サプライチェーン構築	148	・基本契約を締結している生産者と中間事業者の間の取引数量を10%以上増加。 100%以上・・・10ポイント 75%以上・・・8ポイント 50%以上・・・6ポイント 25%以上・・・4ポイント 10%以上・・・2ポイント	・生産者、中間事業者及び食品製造事業者等による一体的な取組を行っている。 協議会を組織して取り組んでいる・・・5ポイント ※なお、協議会とは、代表者、組織及び運営についての会則が策定されており、その事業内容が国産原材料の供給拡大に向けた取組であることとする。

		又は ・当該品目について、加工・業務用向け取引に初めて取り組む場合等、上記の目標値の算出が不可能な場合は、当該取引段階における全出荷量のうち、協議会内出荷量の割合を5%以上増加するものとする。なお、本成果目標の設定に当たっては、成果目標年度において、全ての構成員が協議会内のお荷量を増加させること、かつ、協議会外への出荷量を含めた全ての出荷量を現状以上増加させることを前提とする。 50%以上・・・10ポイント 38%以上・・・8ポイント 27%以上・・・6ポイント 16%以上・・・4ポイント 5%以上・・・2ポイント	
青果物広域流通システム構築	149	・流通コスト（単位数量当たりの集出荷・販売経費）を5%以上縮減。 20%以上・・・10ポイント 16%以上・・・8ポイント 13%以上・・・6ポイント 9%以上・・・4ポイント 5%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別106及び類別119のうち「流通コスト」の成果目標を選択することはできない。	・生産者及び流通業者による一体的な取組を行っている。協議会を組織して取り組んでいる・・・5ポイント ※なお、協議会とは、代表者、組織及び運営についての会則が策定されており、その事業内容が成果物の流通コストの縮減に向けた取組であることとする。
畜産生産基盤育成強化	150	・事業実施地区内における当該畜産加工品の出荷額が2%以上増加。 10%以上・・・10ポイント 8%以上・・・8ポイント 6%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 2%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別183の①成果目標を選択することはできない。	・事業実施地区内における畜産物の出荷額が事業実施年度と直近3年の平均値と比較して102%以上。 114%以上・・・5ポイント 111%以上・・・4ポイント 108%以上・・・3ポイント 105%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
	151	・事業実施地区で生産し出荷する畜産物のうち畜産加工処理施設に仕向ける割合が5ポイント以上増加。 65ポイント以上・・・10ポイント 50ポイント以上・・・8ポイント 35ポイント以上・・・6ポイント 20ポイント以上・・・4ポイント 5ポイント以上・・・2ポイント	・事業実施地区内における畜産加工処理に仕向ける畜産物の出荷量が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・5ポイント 108%以上・・・4ポイント 106%以上・・・3ポイント 104%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
	152	【生乳】 ・1頭当たり乳量を3%以上増加。 7%以上・・・10ポイント 6%以上・・・8ポイント 5%以上・・・6ポイント 4%以上・・・4ポイント 3%以上・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の1頭当たり乳量の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・5ポイント 108%以上・・・4ポイント 106%以上・・・3ポイント 104%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
	153	【生乳】 ・生乳100kg当たり生産コストを8%以上削減。 13%以上・・・10ポイント 12%以上・・・8ポイント 11%以上・・・6ポイント 9%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別154並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の生乳100kg当たり生産コストの平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・5ポイント 92%以下・・・4ポイント 94%以下・・・3ポイント 96%以下・・・2ポイント 98%以下・・・1ポイント
	154	【生乳】 ・生乳100kg当たり労働時間を9%以上削減。	・直近3年の当該地区の生乳100kg当たり労働時間の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。

	26%以上・・・・・・・・・・10ポイント 21%以上・・・・・・・・・・8ポイント 17%以上・・・・・・・・・・6ポイント 13%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別153並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
155	【生乳】 ・酪農における初産月齢を1.0%以上短縮。 2.2%以上・・・・・・・・・・10ポイント 1.9%以上・・・・・・・・・・8ポイント 1.6%以上・・・・・・・・・・6ポイント 1.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.0%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別183の①成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の初産月齢の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
156	【牛肉】 ・繁殖における子牛の平均販売価格が2.4%以上増加。 5.6%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 4.0%以上・・・・・・・・・・6ポイント 3.2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.4%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別183の①成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の平均販売価格が都道府県の平均値と比較して102.0%以上。 113.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 110.3%以上・・・・・・・・・・4ポイント 107.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 104.8%以上・・・・・・・・・・2ポイント 102.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
157	【牛肉】 ・肥育における出荷生産物に占めるA4、A5等級の割合が0.6ポイント以上増加。 1.4ポイント以上・・・・・・・・・・10ポイント 1.2ポイント以上・・・・・・・・・・8ポイント 1.0ポイント以上・・・・・・・・・・6ポイント 0.8ポイント以上・・・・・・・・・・4ポイント 0.6ポイント以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の出荷生産物に占めるA4、A5等級の割合の平均値が都道府県の平均値と比較して102.0%以上。 143.0%以上・・・・・・・・・・5ポイント 132.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 122.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 112.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント 102.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
158	【牛肉】 ・肉用牛の肥育における肥育開始月齢を2.4%以上短縮。 5.6%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 4.0%以上・・・・・・・・・・6ポイント 3.2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.4%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別159の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の肥育開始月齢の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
159	【牛肉】 ・肉用牛の繁殖における子牛の出荷月齢を2.4%以上短縮。 5.6%以上・・・・・・・・・・10ポイント 4.8%以上・・・・・・・・・・8ポイント 4.0%以上・・・・・・・・・・6ポイント 3.2%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.4%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別158及び165の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の子牛の出荷月齢の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
160	【牛肉】 ・肉用牛の繁殖におけるほ育育成時事故率（(分娩頭数-出荷頭数)/分娩頭数）を4.2%以上低減。 9.8%以上・・・・・・・・・・10ポイント 8.4%以上・・・・・・・・・・8ポイント 7.0%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5.6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4.2%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近3年の当該地区のほ育育成時事故率の平均値が都道府県の平均値と比較して98.0%以下。 84.0%以下・・・・・・・・・・5ポイント 87.5%以下・・・・・・・・・・4ポイント 91.0%以下・・・・・・・・・・3ポイント 94.5%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98.0%以下・・・・・・・・・・1ポイント

161	【牛肉】 ・肉用牛の肥育における肥育期間月齢を2.7%以上短縮。 6.3%以上・・・・・・・・・・10ポイント 5.4%以上・・・・・・・・・・8ポイント 4.5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 3.6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 2.7%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の肥育終了月齢の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
162	【牛肉】 ・事業実施地区の子牛の体重のバラツキ（標準偏差）を都道府県のバラツキの削減率を10ポイント以上上回る。 18ポイント以上・・・・・・・・10ポイント 16ポイント以上・・・・・・・・8ポイント 14ポイント以上・・・・・・・・6ポイント 12ポイント以上・・・・・・・・4ポイント 10ポイント以上・・・・・・・・2ポイント	・直近3年間に於ける、当該地区の子牛の体重のバラツキ（標準偏差）と都道府県のバラツキの比率が98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
163	【牛肉】 ・肉用牛の繁殖に於ては子牛1頭当たり、肉用牛の肥育に於ては肥育牛1頭当たりの生産コストを7%以上削減。 15%以上・・・・・・・・・・10ポイント 13%以上・・・・・・・・・・8ポイント 11%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 7%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別164並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の肉用牛の繁殖に於ては子牛1頭当たり、肉用牛の肥育に於ては、肥育1頭当たりの生産コストの平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
164	【牛肉】 ・肉用牛の繁殖に於ては子牛1頭当たり、肥育に於ては、肥育牛1頭当たりの労働時間を12%以上削減。 25%以上・・・・・・・・・・10ポイント 22%以上・・・・・・・・・・8ポイント 19%以上・・・・・・・・・・6ポイント 15%以上・・・・・・・・・・4ポイント 12%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別163並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の肉用牛の繁殖に於ては子牛1頭当たり、肉用牛の肥育に於ては、肥育1頭当たりの労働時間の平均値が都道府県の平均値と比較して98.0%以下。 56.0%以下・・・・・・・・5ポイント 66.5%以下・・・・・・・・4ポイント 77.0%以下・・・・・・・・3ポイント 87.5%以下・・・・・・・・2ポイント 98.0%以下・・・・・・・・1ポイント
165	【牛肉】 ・肉用牛の繁殖における1頭当たり分娩間隔を1.3%以上短縮。 3.1%以上・・・・・・・・・・10ポイント 2.6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 2.2%以上・・・・・・・・・・6ポイント 1.8%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.3%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別159の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の分娩間隔の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント
166	【豚肉】 ・肥育豚における出荷生産物のうち「上」に格付けされる割合が1.5ポイント以上増加。 3.5ポイント以上・・・・・・・・10ポイント 3.0ポイント以上・・・・・・・・8ポイント 2.5ポイント以上・・・・・・・・6ポイント 2.0ポイント以上・・・・・・・・4ポイント 1.5ポイント以上・・・・・・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の出荷生産物のうち「上」に格付けされたものの割合の平均値が都道府県の平均値と比較して102.0%以上。 145.0%以上・・・・・・・・5ポイント 134.3%以上・・・・・・・・4ポイント 123.5%以上・・・・・・・・3ポイント 112.8%以上・・・・・・・・2ポイント 102.0%以上・・・・・・・・1ポイント
167	【豚肉】 ・繁殖めす豚における年間分娩回数を1.1%以上増加。 2.7%以上・・・・・・・・・・10ポイント 2.3%以上・・・・・・・・・・8ポイント	・直近3年の当該地区の繁殖めす豚の年間分娩回数の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・・・・・・・・5ポイント 108%以上・・・・・・・・・・4ポイント

	1.9%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 1.5%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 1.1%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	106%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 104%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 102%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
168	【豚肉】 ・養豚における事故率（(分娩頭数-出荷頭数）／分娩頭数）を24%以上低減。 56%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 48%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 40%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 32%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 24%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・直近3年の当該地区の事故率（出生から出荷場まで）の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・ 5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・ 3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・ 1ポイント
169	【豚肉】 ・養豚における1腹産子数が平均0.25頭以上増加。 1.25頭以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 1.00頭以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 0.75頭以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 0.50頭以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 0.25頭以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・直近3年における当該地区の養豚の1腹産子数の向上割合の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 108%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 106%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 104%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 102%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
170	【豚肉】 ・養豚における1日平均増体率が0.25%以上増加。 1.25%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 1.00%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 0.75%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 0.50%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 0.25%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・直近3年の当該地区の1日平均増体率の平均値が都道府県の平均値と比較して102.0%以上。 119.0%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 114.8%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 110.5%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 106.3%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 102.0%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
171	【豚肉】 ・肥育豚1頭当たり生産コストを6%以上削減。 11%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 9%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 8%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 7%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 6%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別172並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の肥育豚1頭当たりの生産コストの平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・ 5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・ 3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・ 1ポイント
172	【豚肉】 ・肥育豚又は繁殖豚1頭当たり労働時間を13%以上削減。 23%以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 21%以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 18%以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 15%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 13%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別171並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の肥育豚1頭当たり労働時間の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・・・・・・・・ 5ポイント 92%以下・・・・・・・・・・ 4ポイント 94%以下・・・・・・・・・・ 3ポイント 96%以下・・・・・・・・・・ 2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・ 1ポイント
173	【鶏肉】 ・肉用鶏飼養における育成率（49日齢時における生存羽数／鶏群のえ付け羽数）が0.2ポイント以上増加。 0.6ポイント以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 0.5ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 0.4ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント 0.3ポイント以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 0.2ポイント以上・・・・・・・・・・ 2ポイント	・直近3年の当該地区の育成率の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 114%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 111%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 108%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント 105%以上・・・・・・・・・・ 2ポイント 102%以上・・・・・・・・・・ 1ポイント
174	【鶏肉】 ・肉用鶏飼養における飼料要求率が0.25%以上向上。 1.00ポイント以上・・・・・・・・・・ 10ポイント 0.80ポイント以上・・・・・・・・・・ 8ポイント 0.65ポイント以上・・・・・・・・・・ 6ポイント	・直近3年の当該地区の飼料要求率の向上割合の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・・・・・・・・ 5ポイント 108%以上・・・・・・・・・・ 4ポイント 106%以上・・・・・・・・・・ 3ポイント

	0.45ポイント以上・・・4ポイント 0.25ポイント以上・・・2ポイント	104%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
175	【鶏肉】 ・肉用鶏飼養におけるブロイラー100羽当たり生産コストを8%以上削減。 19%以上・・・10ポイント 16%以上・・・8ポイント 13%以上・・・6ポイント 11%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別176並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区のブロイラー100羽当たりの生産コストの平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・5ポイント 92%以下・・・4ポイント 94%以下・・・3ポイント 96%以下・・・2ポイント 98%以下・・・1ポイント
176	【鶏肉】 ・肉用鶏飼養におけるブロイラー100羽当たり労働時間を13%以上削減。 23%以上・・・10ポイント 20%以上・・・8ポイント 18%以上・・・6ポイント 15%以上・・・4ポイント 13%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別175並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区のブロイラー100羽当たりの労働時間の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 90%以下・・・5ポイント 92%以下・・・4ポイント 94%以下・・・3ポイント 96%以下・・・2ポイント 98%以下・・・1ポイント
177	【鶏肉】 ・肉用鶏飼養における49日齢時体重が0.25%以上増加。 1.00%以上・・・10ポイント 0.80%以上・・・8ポイント 0.65%以上・・・6ポイント 0.45%以上・・・4ポイント 0.25%以上・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の49日齢時体重の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・5ポイント 108%以上・・・4ポイント 106%以上・・・3ポイント 104%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
178	【鶏卵】 ・採卵鶏飼養における産卵率が0.3ポイント以上向上。 0.7ポイント以上・・・10ポイント 0.6ポイント以上・・・8ポイント 0.5ポイント以上・・・6ポイント 0.4ポイント以上・・・4ポイント 0.3ポイント以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別179の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の産卵率の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 110%以上・・・5ポイント 108%以上・・・4ポイント 106%以上・・・3ポイント 104%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
179	【鶏卵】 ・採卵鶏における年間産卵量が0.25%以上増加。 1.00%以上・・・10ポイント 0.80%以上・・・8ポイント 0.65%以上・・・6ポイント 0.45%以上・・・4ポイント 0.25%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別178及び183の①の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の産卵量の平均値が都道府県の平均値と比較して102%以上。 122%以上・・・5ポイント 117%以上・・・4ポイント 112%以上・・・3ポイント 107%以上・・・2ポイント 102%以上・・・1ポイント
180	【鶏卵】 ・採卵鶏100羽当たり生産コストが8%以上削減。 19%以上・・・10ポイント 16%以上・・・8ポイント 13%以上・・・6ポイント 10%以上・・・4ポイント 8%以上・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別181並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の採卵鶏100羽当たりの生産コストの平均値が都道府県の平均値と比較して98.0%以下。 88.0%以下・・・5ポイント 90.5%以下・・・4ポイント 93.0%以下・・・3ポイント 95.5%以下・・・2ポイント 98.0%以下・・・1ポイント

	181	【鶏卵】 ・採卵鶏100羽当たり労働時間が13%以上削減。 23%以上・・・・・・・・・・10ポイント 20%以上・・・・・・・・・・8ポイント 18%以上・・・・・・・・・・6ポイント 15%以上・・・・・・・・・・4ポイント 13%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別180並びに183の②及び③の成果目標を選択することはできない。	・直近3年の当該地区の採卵鶏100羽当たりの労働時間の平均値が都道府県の平均値と比較して98%以下。 78%以下・・・・・・・・・・5ポイント 83%以下・・・・・・・・・・4ポイント 88%以下・・・・・・・・・・3ポイント 93%以下・・・・・・・・・・2ポイント 98%以下・・・・・・・・・・1ポイント												
	182	【鶏卵】 ・採卵鶏飼養における飼料要求率が0.25%以上向上。 1.00%以上・・・・・・・・・・10ポイント 0.80%以上・・・・・・・・・・8ポイント 0.65%以上・・・・・・・・・・6ポイント 0.45%以上・・・・・・・・・・4ポイント 0.25%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・直近3年の当該地区の飼料要求率の向上割合が都道府県の平均値と比較して102%以上向上。 110%以上・・・・・・・・・・5ポイント 108%以上・・・・・・・・・・4ポイント 106%以上・・・・・・・・・・3ポイント 104%以上・・・・・・・・・・2ポイント 102%以上・・・・・・・・・・1ポイント												
	183	以下の①から③までの中から1つ選択するものとする。 ①受益農家の生産額を3%以上増加。 7%以上・・・・・・・・・・10ポイント 6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント ②受益農家の家畜1頭（ブロイラー・採卵鶏の場合100羽）当たりの生産コストを8%以上削減。 13%以上・・・・・・・・・・10ポイント 12%以上・・・・・・・・・・8ポイント 11%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 8%以上・・・・・・・・・・2ポイント ③受益農家の家畜1頭（ブロイラー・採卵鶏の場合100羽）当たりの労働時間を9%以上削減。 26%以上・・・・・・・・・・10ポイント 21%以上・・・・・・・・・・8ポイント 17%以上・・・・・・・・・・6ポイント 13%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、①の成果目標を選択した場合は、類別150、156及び179を、②又は③の成果目標を選択した場合は、類別153、154、163、164、171、172、175、176、180及び181を選択することはできない。	・畜産に係る地域の収益力向上のために、生産者、行政機関及び畜産支援組織・関連企業等による一体的な取組を行っている。 畜産クラスターを組織して取り組んでいる・5ポイント ※なお、畜産クラスターとは、生産者、行政機関及び畜産支援組織・関連企業等が有機的に連携・結集したものであり、事業内容が地域の収益力向上に向けた取組の一環であることとする。												
家畜改良増殖	184	【牛肉】 ・後代検定後、選抜種雄牛の産子の年間市場上場頭数が県有種雄牛産子中の上位10位以内。 3位以内・・・・・・・・・・10ポイント 4位以内・・・・・・・・・・8ポイント 6位以内・・・・・・・・・・6ポイント 8位以内・・・・・・・・・・4ポイント 10位以内・・・・・・・・・・2ポイント	・直近年度に産子の肥育成績が出る選抜種雄牛において、産子の肥育成績（日齢枝肉重量（g）または1日平均増体量（kg））の平均値が直近年度以前の過去2年に産子の肥育成績が出た選抜種雄牛産子の肥育成績平均値と比較して2.0%または4.0%以上高い。 <table><tr><td>日齢枝肉重量</td><td>1日平均増体量</td></tr><tr><td>10.0%以上・・・・・・・・5ポイント</td><td>20.0%以上・・・・・・・・5ポイント</td></tr><tr><td>8.0%以上・・・・・・・・4ポイント</td><td>16.0%以上・・・・・・・・4ポイント</td></tr><tr><td>6.0%以上・・・・・・・・3ポイント</td><td>12.0%以上・・・・・・・・3ポイント</td></tr><tr><td>4.0%以上・・・・・・・・2ポイント</td><td>8.0%以上・・・・・・・・2ポイント</td></tr><tr><td>2.0%以上・・・・・・・・1ポイント</td><td>4.0%以上・・・・・・・・1ポイント</td></tr></table> 又は、 ・直近年度に産子の肥育成績が出る選抜種雄牛雌産子において、直近年度の平均期待育種価（日齢枝肉重量（g））が直近年度の県内雌牛の平均期待育種価と比較して1.0%以上増加。 5.0%以上・・・・・・・・5ポイント 4.0%以上・・・・・・・・4ポイント	日齢枝肉重量	1日平均増体量	10.0%以上・・・・・・・・5ポイント	20.0%以上・・・・・・・・5ポイント	8.0%以上・・・・・・・・4ポイント	16.0%以上・・・・・・・・4ポイント	6.0%以上・・・・・・・・3ポイント	12.0%以上・・・・・・・・3ポイント	4.0%以上・・・・・・・・2ポイント	8.0%以上・・・・・・・・2ポイント	2.0%以上・・・・・・・・1ポイント	4.0%以上・・・・・・・・1ポイント
日齢枝肉重量	1日平均増体量														
10.0%以上・・・・・・・・5ポイント	20.0%以上・・・・・・・・5ポイント														
8.0%以上・・・・・・・・4ポイント	16.0%以上・・・・・・・・4ポイント														
6.0%以上・・・・・・・・3ポイント	12.0%以上・・・・・・・・3ポイント														
4.0%以上・・・・・・・・2ポイント	8.0%以上・・・・・・・・2ポイント														
2.0%以上・・・・・・・・1ポイント	4.0%以上・・・・・・・・1ポイント														

		3.0%以上・・・3ポイント 2.0%以上・・・2ポイント 1.0%以上・・・1ポイント
185	【牛肉】 ・繁殖供用した雌牛の平均初産月齢が0.5%以上短縮。 4.0%以上・・・10ポイント 3.0%以上・・・8ポイント 2.0%以上・・・6ポイント 1.0%以上・・・4ポイント 0.5%以上・・・2ポイント	・繁殖供用した雌牛の平均分娩間隔が0.5%以上短縮。 5.0%以上・・・5ポイント 4.0%以上・・・4ポイント 2.0%以上・・・3ポイント 1.0%以上・・・2ポイント 0.5%以上・・・1ポイント
186	【牛肉】 ・選抜種雄牛の雌産子の平均推定育種価（日齢枝肉重量（g））が県内雌牛の平均推定育種価と比較して1.0%以上向上。 5.0%以上・・・10ポイント 4.0%以上・・・8ポイント 3.0%以上・・・6ポイント 2.0%以上・・・4ポイント 1.0%以上・・・2ポイント	・直近年度に繁殖供用できる選抜種雄牛の雌産子を繁殖供用し、その初産月齢または分娩間隔が0.5%以上短縮。 （初産月齢） 4.0%以上・・・5ポイント 3.0%以上・・・4ポイント 2.0%以上・・・3ポイント 1.0%以上・・・2ポイント 0.5%以上・・・1ポイント （分娩間隔） 5.0%以上・・・5ポイント 4.0%以上・・・4ポイント 2.0%以上・・・3ポイント 1.0%以上・・・2ポイント 0.5%以上・・・1ポイント 又は、 ・直近年度に選定された選抜種雄牛の雄産子を候補種雄牛として、直接検定における1日平均増体量（kg）が直近3年の県内平均値と比較して1.0%以上高い。 5.0%以上・・・5ポイント 4.0%以上・・・4ポイント 3.0%以上・・・3ポイント 2.0%以上・・・2ポイント 1.0%以上・・・1ポイント
187	【牛肉】 ・各都道府県内において銘柄牛や美味しさの指標を取り入れる等の特色ある牛肉生産（家畜改良に資するものに限る）を行い、年間出荷量（kg）が0.8%以上増加。 1.6%以上・・・10ポイント 1.4%以上・・・8ポイント 1.2%以上・・・6ポイント 1.0%以上・・・4ポイント 0.8%以上・・・2ポイント	・直近年度に各都道府県内において銘柄牛や美味しさの指標を取り入れる等の特色ある牛肉生産（家畜改良に資するものに限る）を行い、直近過去3年の年間平均出荷量（kg）より0.8%以上増加。 1.6%以上・・・5ポイント 1.4%以上・・・4ポイント 1.2%以上・・・3ポイント 1.0%以上・・・2ポイント 0.8%以上・・・1ポイント
188	【豚肉】 ・能力（1腹当たり産子数、離乳頭数、1日平均増体重、背脂肪の厚さ、ロース芯筋内脂肪含量、保水力、剪断力価、飼料要求率等のうち、把握可能な2項目以上について改良を行うものとする。）を1.0%以上向上。 2.4%以上・・・10ポイント 2.0%以上・・・8ポイント 1.7%以上・・・6ポイント 1.4%以上・・・4ポイント 1.0%以上・・・2ポイント	・左記の能力について都道府県で独自に設定した値に対して1.0%以上向上。 2.4%以上・・・5ポイント 2.0%以上・・・4ポイント 1.7%以上・・・3ポイント 1.4%以上・・・2ポイント 1.0%以上・・・1ポイント
189	【豚肉】 ・当該銘柄（事業実施地区内の養豚産業の品質向上、競争力強化に寄与するものであり、都道府県が推奨する銘柄又は今後、銘柄化が確実であるもの。以下【豚肉】において同じ。）の1腹当たりに係る生産量（産肉量）又は飼養頭数を4%以上増加。	・当該銘柄の1腹当たりに係る生産量（産肉量）又は飼養頭数について、都道府県における銘柄の過去5年間の生産量又は飼養頭数に対して4%以上多い。 8%以上・・・5ポイント 7%以上・・・4ポイント

	8%以上・・・・・・・・・・10ポイント 7%以上・・・・・・・・・・8ポイント 6%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4%以上・・・・・・・・・・2ポイント	6%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 4%以上・・・・・・・・・・1ポイント
190	【豚肉】 ・当該銘柄の生産量（産肉量）又は飼養頭数を5%以上増加。 20%以上・・・・・・・・・・10ポイント 16%以上・・・・・・・・・・8ポイント 13%以上・・・・・・・・・・6ポイント 9%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該銘柄の生産量（産肉量）又は飼養頭数について、都道府県における銘柄の過去5年間の生産量に対して5%以上多い。 20%以上・・・・・・・・・・5ポイント 16%以上・・・・・・・・・・4ポイント 13%以上・・・・・・・・・・3ポイント 9%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
191	【豚肉】 ・当該銘柄豚1頭当たり物財費を3%以上削減。 7%以上・・・・・・・・・・10ポイント 6%以上・・・・・・・・・・8ポイント 5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 3%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該銘柄の物財費について、都道府県における銘柄の把握可能な直近年度の物財費に対して3%以上少ない。 7%以上・・・・・・・・・・5ポイント 6%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 4%以上・・・・・・・・・・2ポイント 3%以上・・・・・・・・・・1ポイント
192	【豚肉】 ・当該銘柄豚1頭当たり労働時間を6.5%以上削減。 11.5%以上・・・・・・・・・・10ポイント 10.0%以上・・・・・・・・・・8ポイント 9.0%以上・・・・・・・・・・6ポイント 7.5%以上・・・・・・・・・・4ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該銘柄の労働時間について都道府県における銘柄豚の把握可能な直近年度の労働時間に対して6.5%以上少ない。 11.5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 10.0%以上・・・・・・・・・・4ポイント 9.0%以上・・・・・・・・・・3ポイント 7.5%以上・・・・・・・・・・2ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
193	【鶏肉】 ・能力（飼料要求率、49日齢時体重等）が現在値に対して1.0%以上向上。 2.4%以上・・・・・・・・・・10ポイント 2.0%以上・・・・・・・・・・8ポイント 1.7%以上・・・・・・・・・・6ポイント 1.4%以上・・・・・・・・・・4ポイント 1.0%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・能力について都道府県が独自に設定した値に対して1%以上高い。 25%以上・・・・・・・・・・5ポイント 19%以上・・・・・・・・・・4ポイント 13%以上・・・・・・・・・・3ポイント 7%以上・・・・・・・・・・2ポイント 1%以上・・・・・・・・・・1ポイント
194	【鶏肉】 ・当該銘柄（事業実施地区内の養鶏産業の競争力強化・品質向上に寄与するものであり、改良増殖に資する取組を行う家畜の銘柄。以下【鶏肉】において同じ。）の飼養羽数又は生産量（産肉量）が現在値に対して5%以上増加。 25%以上・・・・・・・・・・10ポイント 20%以上・・・・・・・・・・8ポイント 15%以上・・・・・・・・・・6ポイント 10%以上・・・・・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・・・・・2ポイント	・当該銘柄の飼養羽数又は生産量（産肉量）について都道府県が独自に設定した値に対して5%以上多い。 65%以上・・・・・・・・・・5ポイント 50%以上・・・・・・・・・・4ポイント 35%以上・・・・・・・・・・3ポイント 20%以上・・・・・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・・・・・1ポイント
195	【鶏肉】 ・当該銘柄100羽当たりの生産コストが現在値に対して4.0%以上削減。 9.5%以上・・・・・・・・・・10ポイント 8.0%以上・・・・・・・・・・8ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・6ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・4ポイント 4.0%以上・・・・・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別196の成果目標を選択することはできない。	・当該銘柄100羽当たりの生産コストが直近3年の平均よりも4.0%以上削減。 9.5%以上・・・・・・・・・・5ポイント 8.0%以上・・・・・・・・・・4ポイント 6.5%以上・・・・・・・・・・3ポイント 5.0%以上・・・・・・・・・・2ポイント 4.0%以上・・・・・・・・・・1ポイント
196	【鶏肉】 ・当該銘柄100羽当たりの労働時間が現在値に対して6.5%以上削減。	・当該銘柄100羽当たりの労働時間が直近3年の平均よりも6.5%以上削減。

	減。 11.5%以上・・・・・・10ポイント 10.0%以上・・・・・・8ポイント 9.0%以上・・・・・・6ポイント 7.5%以上・・・・・・4ポイント 6.5%以上・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別195の成果目標を選択することはできない。	11.5%以上・・・・・・5ポイント 10.0%以上・・・・・・4ポイント 9.0%以上・・・・・・3ポイント 7.5%以上・・・・・・2ポイント 6.5%以上・・・・・・1ポイント
197	【鶏卵】 ・能力（飼料要求率、年間産卵量等）が現在値に対して1.0%以上向上。 2.4%以上・・・・・・10ポイント 2.0%以上・・・・・・8ポイント 1.7%以上・・・・・・6ポイント 1.4%以上・・・・・・4ポイント 1.0%以上・・・・・・2ポイント	・能力（飼料要求率、年間産卵量等）について都道府県が独自に設定した値に対して1.0%以上高い。 2.4%以上・・・・・・5ポイント 2.0%以上・・・・・・4ポイント 1.7%以上・・・・・・3ポイント 1.4%以上・・・・・・2ポイント 1.0%以上・・・・・・1ポイント
198	【鶏卵】 ・当該銘柄（事業実施地区内の養鶏産業の競争力強化・品質向上に寄与するものであり、改良増殖に資する取組を行う家畜の銘柄。以下【鶏卵】において同じ。）の飼養羽数又は鶏卵の生産量が現在値に対して5%以上増加。 25%以上・・・・・・10ポイント 20%以上・・・・・・8ポイント 15%以上・・・・・・6ポイント 10%以上・・・・・・4ポイント 5%以上・・・・・・2ポイント	・当該銘柄の飼養羽数又は鶏卵の生産量が都道府県が独自に設定した値に対して5%以上多い。 25%以上・・・・・・5ポイント 20%以上・・・・・・4ポイント 15%以上・・・・・・3ポイント 10%以上・・・・・・2ポイント 5%以上・・・・・・1ポイント
199	【鶏卵】 ・当該銘柄100羽当たりの生産コストが現在値に対して4.0%以上削減。 9.5%以上・・・・・・10ポイント 8.0%以上・・・・・・8ポイント 6.5%以上・・・・・・6ポイント 5.0%以上・・・・・・4ポイント 4.0%以上・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別200の成果目標を選択することはできない。	・当該銘柄100羽当たりの生産コストが直近3年の平均よりも4.0%以上削減。 9.5%以上・・・・・・5ポイント 8.0%以上・・・・・・4ポイント 6.5%以上・・・・・・3ポイント 5.0%以上・・・・・・2ポイント 4.0%以上・・・・・・1ポイント
200	【鶏卵】 ・当該銘柄100羽当たりの労働時間が現在値に対して6.5%以上削減。 11.5%以上・・・・・・10ポイント 10.0%以上・・・・・・8ポイント 9.0%以上・・・・・・6ポイント 7.5%以上・・・・・・4ポイント 6.5%以上・・・・・・2ポイント ※一つの取組において、本成果目標を選択した場合は、類別199の成果目標を選択することはできない。	・当該銘柄100羽当たりの労働時間が直近3年の平均よりも6.5%以上削減。 11.5%以上・・・・・・5ポイント 10.0%以上・・・・・・4ポイント 9.0%以上・・・・・・3ポイント 7.5%以上・・・・・・2ポイント 6.5%以上・・・・・・1ポイント
201	【特用家畜のうち地鶏等の家きん】 ・当該家畜（当該銘柄（事業実施地区内の産業の競争力強化・品質向上に寄与するものであり、改良増殖に資する取組を行う特用家畜の銘柄。以下【特用家畜】において同じ。）の飼養羽数又は生産量（産肉量）が現在値に対して25%以上増加。 125%以上・・・・・・10ポイント 100%以上・・・・・・8ポイント 75%以上・・・・・・6ポイント 50%以上・・・・・・4ポイント 25%以上・・・・・・2ポイント 【馬及び特用家畜】	【特用家畜】 ・当該家畜（当該銘柄）の農家1戸当たりの飼養頭羽数又は生産量（産肉量）の全国平均値（ただし、全国平均値がない場合は都道府県で独自に設定）に対して5.0%以上多い。 122.0%以上・・・・・・5ポイント 92.8%以上・・・・・・4ポイント 63.5%以上・・・・・・3ポイント 34.3%以上・・・・・・2ポイント 5.0%以上・・・・・・1ポイント 【馬】